

Defi-Link Meter ADVANCE FD

デフィリンクメーターアドバンスエフディー取扱説明書

DF17801



このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。お客様・取り付け業者様ともに、ご使用前に本書を全て必ずお読みいただき、正しいお取り扱い方法でご愛用いただけますようお願い申し上げます。

なお、本品の装着に関する事故や弊害につきましては、いかなる場合においても、当社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承くださいませようお願い申し上げます。

1. 目次

2. 安全・取り扱いに関するご注意【必ずお読みください】	5
2.1. 取り付け作業をする前に(取り付け業者様へ)	6
2.2. 取り扱いに関して(お客様・取り付け業者様へ)	10
3. 特長(お客様へ)	12
4. 仕様(お客様・取り付け業者様へ)	13
4.1. 表示機種	13
5. 構成部品(お客様・取り付け業者様へ)	14
6. オプション・補修パーツ(お客様・取り付け業者様へ)	15
7. 各部名称・寸法(お客様・取り付け業者様へ)	16
8. 取り付け方法(お客様・取り付け業者様へ)	19
8.1. 内容物の確認	19
8.2. アドバンスコントロールユニット及びセンサーの取り付け	19
8.3. 車速・エンジン回転数信号ハーネスの配線	19
8.4. FD 本体・スイッチの取り付け及びメーターハーネスの配線	20
8.5. 各種設定・動作確認	23
9. 使用方法(お客様へ)	24
9.1. 状態遷移図	24
9.2. スイッチ・ボタン呼称	25
9.3. システムセットアップモード	26
9.3.1. 表示単位設定 [UNIT]	28
9.3.2. スピードパルス設定 [SPEED PULSES]	29
9.3.3. 気筒数設定 [ENGINE CYLINDERS]	31
9.3.4. タコメーター応答性設定 [TACHO RESPONSE]	32
9.3.5. デイマー設定 [DIMMER]	33
9.3.6. スペシャル表示設定 [SPECIAL MODE]	34
9.3.7. ウォームアップ設定 [WARM UP MODE]	35

9.3.8.	アクティブディスプレイ設定	36
9.4.	ディスプレイセットアップモード	38
9.4.1.	REV BAR 範囲設定 [REV BAR RANGE]	40
9.4.2.	REV BAR 最大回転数設定 [REV BAR MAX SCALE]	41
9.4.3.	TURBO BAR 最大値設定 [TURBO BAR MAX SCALE]	42
9.4.4.	シーケンシャルインジケータ表示パターン設定 [SEQ. IND. PATTERN]	43
9.4.5.	シーケンシャルインジケータ点灯ステップ設定 [SEQ. IND. STEP]	44
9.4.6.	シーケンシャルインジケータ表示 ON/OFF 設定 [SEQ.IND.]	45
9.4.7.	油圧ワーニング制限設定 [OIL PRESS WARNING LIMIT]	46
9.4.8.	ワーニングブザー設定 [DISPLAY WARNING BUZZER]	47
9.4.9.	ディスプレイ No. 設定 [DISPLAY NO.]	48
9.4.10.	マニュアル 二次元バーコード [MANUAL]	49
9.5.	表示項目とサイズ切り替え	50
9.5.1.	マルチ表示ゾーンについて	51
9.6.	オープニング・エンディングモード	52
9.7.	各動作モード	53
9.7.1.	表示の明るさレベルの調整	53
9.7.2.	リアルモード	55
9.7.3.	リアルピークモード	61
9.7.4.	リアルピークリセットモード	62
9.7.5.	レックモード	63
9.7.6.	レックピークモード	64
9.7.7.	プレイモード	65
9.7.8.	プレイピークモード	67
9.8.	ワーニング設定モード	69
9.8.1.	ワーニング値の設定変更	70
9.8.2.	ワーニング出力 ON/OFF の設定	70
9.9.	エラー表示	72
9.10.	シーケンシャルインジケータ	73

10. トラブルシューティング(お客様・取り付け業者様へ)	74
11. 保守・点検・保証・アフターサービス(お客様・取り付け業者様へ).....	76

本製品は Defi-Link ADVANCE Control Unit(アドバンスコントロールユニット)と一緒に使用する製品です。本製品だけでは動作しません。本製品をご使用の際は必ず別売のアドバンスコントロールユニットをご購入いただき、取扱説明書も合わせてお読みください。

DF077 シリーズと DF177 シリーズのアドバンスコントロールユニットに接続した場合で一部機能が異なります。詳細は各コントロールユニットの取扱説明書をご参照ください。

2. 安全・取り扱いに関するご注意【必ずお読みください】

本製品は車両情報を表示する製品です。本製品をお取り付けの前に本取扱説明書及び取り付ける車両のメーカーが発行している整備解説書、配線図に示されている内容や安全に関する注意事項をよくお読みいただき、十分に理解された上でお取り付けいただけますようお願い申し上げます。また、本製品(及び本製品の取り付けられている車)を他の人に貸し出したり譲渡する場合は、取扱説明書と保証書を必ずお渡しください。

本書では、取り扱いを誤った場合などの危険の程度を「危険」「警告」「注意」の3つのレベルで分類しています。また、本製品を安全に正しくお使いいただくために必ず行っていただきたい事項と、守っていただきたい事項を「確認」として分類しています。内容をよくお読みいただき、十分に理解された上でお取り付けください。

△危険	取り扱いを誤った場合、死亡、又は重傷を負うことがあり、かつその切迫度合いが高いことが想定される場合。
△警告	取り扱いを誤った場合、死亡、又は重傷を負う可能性が想定される場合。
△注意	取り扱いを誤った場合、傷害を負う危険が想定される場合、または物的損害の発生が想定される場合。
確認	「必ず行っていただきたい事」、「必ず守っていただきたい事」を示しています。

注意内容の性質表示

△	△は、注意(警告を含む)をしなければならない記号です。
⊘禁止	⊘は、行為を禁止する記号です。(絶対にしてはいけない事です。)
●強制	●は、行為を指示する記号です。(必ず行っていただくことです。)

2.1. 取り付け作業をする前に(取り付け業者様へ)

△危険

- ⊖製品は水のかかる場所、湿気の多い場所には取り付けないでください。ショート事故による火災の原因となり大変危険です。
- ⊖ステアリング、ブレーキなどの運転操作に直接関係する部位付近には配線しないでください。運転の妨げによる事故の原因となり大変危険です。
- Ⓛ作業を行う時は必ず車が動き出さないような措置をし、エンジンを停止してから行ってください。作業中に車が動き出したり、火災の原因となり大変危険です。
- Ⓛ配線作業中は必ずキーシリンダーから鍵を抜き、バッテリーのマイナス(-)ターミナルを外してください。ショート事故による火災の原因となり大変危険です。
- Ⓛシートベルトやエアバックなどの安全装置や、エンジン、ステアリング、ブレーキなどの走行性能と直接関係する部位のハーネスの加工時及び配線の接続時(ネジの脱着など)は誤配線に十分注意してください。車両不具合による事故や火災の原因となり大変危険です。
- Ⓛ配線の接続はハンダ付けを行うか、エレクトロタップかギボシを使用し、接続部の絶縁を必ず行ってください。また、配線に衝撃やテンションがかかる場所は、緩衝材やコルゲートチューブなどで保護してください。ショート事故による火災の原因となり大変危険です。
- Ⓛ電源配線時、電源ハーネスに断線がないか、または断線しかかかっていないか確認してください。ショート事故による火災の原因となり大変危険です。
- Ⓛ電源配線時、IGN ハーネス接続ラインの車両側に 30A 以下のヒューズがあることを確認してください。30A を超えるヒューズの場合、ショート故障の際に熔断せず火災の原因となり大変危険です。
- Ⓛヒューズが切れた場合は速やかに製品の使用を中止してください。続けて使用するとショート事故による火災の原因となり大変危険です。また、車両の故障や事故の原因となります。
- Ⓛ製品に付属しているヒューズを交換する場合は、必ず規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量を超えるヒューズを使用した場合、火災の原因となり大変危険です。
- Ⓛ製品が故障したり誤動作した場合は速やかに製品の使用を中止してください。続けて使用すると車両の故障や事故の原因となります。

△警告

⊙本製品を絶対に改造や分解しないでください。保証の対象外となるだけでなく故障や事故の原因となります。



改造・分解

⊙エンジン停止直後は絶対に作業を行わないでください。エンジン停止直後はエンジンや排気管が非常に高温になっており、火傷を負う可能性があります。

⊙作業中は幼児・子供等を近づけないでください。部品等が外れて飲み込む等の恐れがあります。

⊙乗員保護装置(エアバッグ等)の作動に影響を及ぼす場所に取り付けしないでください。保護装置作動時にケガの恐れがあります。

① 本体の取り付け位置について

国土交通省の定める道路運送車両の保安基準の改正(平成 17 年 1 月 1 日)に伴い、下記の範囲内の視界を確保することが義務付けされました。ダッシュボード上に機器を取り付ける際は、下記の図のように運転者の視界を妨げないように取り付けてください。

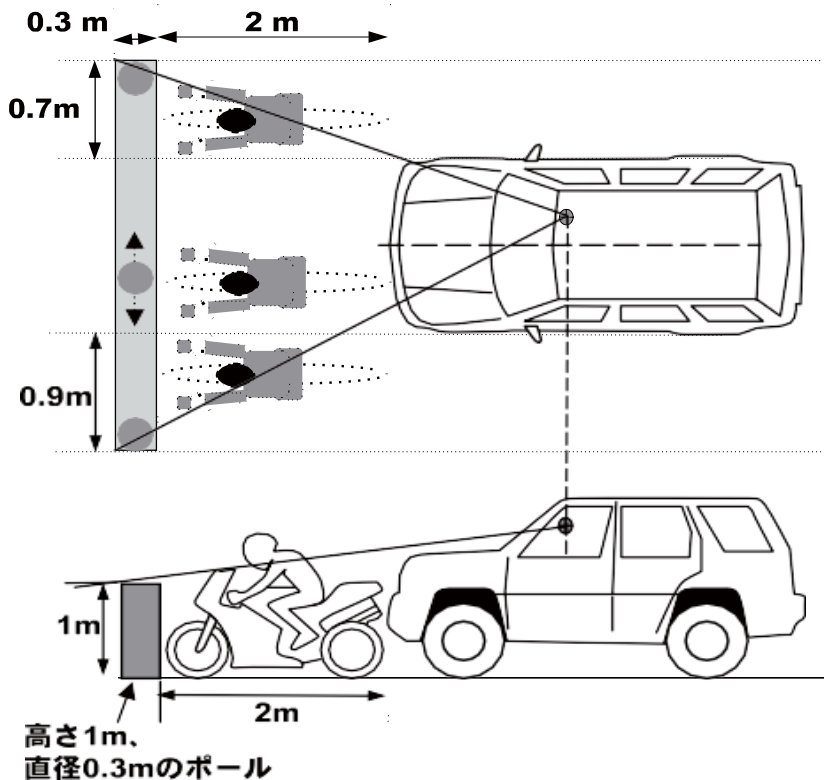
前方視界基準

■ 対象車種

- ・専ら乗用の用に供する自動車(乗員定員 11 人以上のものを除く)
- ・車両総重量が 3.5 トン以下の貨物自動車

■ 基準概要

- ・自動車の前方 2mにある高さ 1m、直径 0.3mの円柱(6 歳児を模したものを鏡等を用いず直接視認できること。



❶ 取り付け箇所・取り付け方法は慎重に検討し、絶対に脱落しないようにしてください。特に安全装置や運転の妨げになる位置に製品を取り付けしないでください。誤った取り付け箇所・取り付け方法は、製品の脱落や車両破損の原因、運転の妨げとなります。

❷ 必ず既存の配線がショート及び断線しないように本製品の配線を行ってください。また、車速・エンジン回転数信号の配線の際は、以下の順で配線作業を行ってください。手順を誤ると車両のコントローラーなどを破壊する恐れがあります。

- 1.最初にアドバンスコントロールユニットの電源配線を行ってください。
- 2.イグニッションキーオン時にアドバンスコントロールユニットの電源確認マークが点灯することを確認してください。
- 3.バッテリーのマイナス(-)端子を再度外し、車速・エンジン回転数信号の配線作業を行ってください。

△注意

⊙ 本製品に過大な力をかけたり、ぶつけたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。

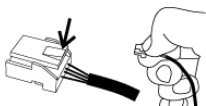
⊙ 本製品の端子などに必要以上の力を加えないでください。破損の原因となります。

⊙ 本製品付属のハーネス以外で配線をしないでください。

⊙ ハーネスは、エンジン、排気管、過給機付近には配線しないでください。ハーネスの破損、溶断の原因になります。

⊙ 本製品は、水のかかる場所、湿気やほごりの多い場所、ヒーターの吹き出し口やその周辺には取り付けしないでください。

⊙ コード、特にコネクタ部を強く引っ張らないでください。破損の原因となります。コネクタを抜く際は、ロックを確実に押しながら抜いてください。



⊙ インstrumentパネルの助手席側及びセンターに本製品やアドバンスコントロールユニットを埋め込まないでください。車両の保安基準に適合しません。

❸ 12V仕様車専用です。12V車以外には取り付けしないでください。



❹ 使用しない配線は絶縁テープなどで完全に絶縁してください。また、取り付け時に外したり、ゆるめた部品やコネクタ、新たに配線したものは必ず正しく組みつけ、固定してください。

❺ 車体やネジ部などに、配線をはさみ込まないようにしてください。故障の原因となります。

❻ ハーネスは点火信号や無線、HIDユニットのハーネスなどのノイズの発生しそうな場所を避けて配線してください。点火系などのノイズは製品誤動作の原因となります。

- ❶ 本機やアドバンスコントロールユニットに無線機や携帯電話等電波を発する機器を近づけないように設置してください。誤動作の原因となります。
- ❷ エンジンルーム内で配線を分岐する際は、防水処理を確実に行ってください。センサーを取り付ける際は、センサー近くのハーネス部分を曲げないように取り付けてください。
- ❸ ハンダ付けで火傷をしたり、配線・部品の端面・尖った部分等に当たり手を切傷することがないように手袋を着用してください。
- ❹ センサーは熱のこもらない場所、及び水のかからない場所を選んで取り付けてください。センサー破損の原因となります。
- ❺ サンシールドを使用する場合は、フロントガラスと製品の間には置くようにして製品が日陰になるようにしてください。
- ❻ 清掃するときは、電源を切り、眼鏡拭きやスモーククリーナーのような乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れを落とす場合は、中性洗剤に浸してよく絞った布で拭いてください。有機溶剤(ベンジン、シンナーなど)、酸・アルカリ類は使用しないでください。

確認

- ❶ 取り付けは必ず本書に従ってください。
 - ❷ バッテリーのマイナス(-)ターミナルを外すと、メモリー機能を持ったオーディオや時計などの記憶内容が消去される物があります。作業終了後、それぞれの取扱説明書に従って設定し直してください。
 - ❸ 取り付け作業が終了しましたら、スタートガイド、保証書、残りの部品、パッケージは必ずお客様にお渡しください。
 - ❹ 純正部品の取り付け、取り外しに際しては、カーメーカー発行の整備書を確認してください。
 - ❺ 電源配線前に、分岐する車両配線の電圧を確認してください。配線後、電源ハーネスのコネクター側で再度電圧を確認してから製品に接続してください。
 - ❻ ナビゲーションシステムやカーテレビを取り付けている場合は、それら本体やアンテナ、モニター、ハーネス類からできるだけ離して本製品の配線、取り付けを行ってください。近付けたり、ハーネスを一緒に束ねたりするとテレビ表示に影響を与える場合があります。
- △取り付け作業の際に純正部品等が破損、紛失しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

2.2. 取り扱いに関して(お客様・取り付け業者様へ)

△警告

⊙本製品を絶対に改造や分解しないでください。保証の対象外となるだけでなく故障や事故の原因となります。



改造・分解

⊙走行中は安全のため本製品の情報の確認は最小限の時間にとどめ、長時間凝視しないでください。前方不注意による事故の原因となり大変危険です。

⊙「表示がでない」などの故障状態や、「水などがかった」「煙が出た」「変な匂いがする」などの異常な状態では使用しないでください。万一そのような状態が発生したら、すみやかに販売店、取り付け店にご連絡ください。そのままご使用になりますと、事故や火災の原因となり大変危険です。

❶本製品はお買い上げいただいた販売店またはディーラーで取り付けてください。個人でお取り付けされた場合、保証の対象外となります。

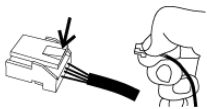
❶車両の警告灯(エンジンチェック警告灯など)が点灯した場合には直ちに車両を停止し、エンジンをオフしてください。車両の警告灯が点灯している状態で車を使い続けると、車両故障や事故の原因となり大変危険です。

❶操作は車を停止して行ってください。

❶幼児・子供等がスイッチやその他の部品を飲み込まないようにインパネ等にしっかりと固定してください。

△注意

⊙コード、特にコネクター部を強く引っ張らないでください。破損の原因となります。コネクターを抜く際は、ロックを確実に押しながら抜いてください。



△本製品の使用、または故障により生じた直接・間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

確認

⊙旧 Defi-Link システムとリンクさせることはできません。アドバンスシステムのみと接続できます。

❶製品の表示は参考値です。純正メーターの指示で運転してください。

❶エンジン回転数信号を入力する場合の対応気筒数は1・2・3・4・5・6・8気筒の4サイクルです。ディーゼル車には取り付けできません。

❶ 電源・信号の配線については Web サイトの適用車種検索をご参照ください。

❷ 取り付け後も定期的に点検を実施し、十分注意してご使用ください。使用環境や条件等によって耐久性が落ちる場合があります。

❸ 本製品を長期間使用しないときは車両から外してください。廃棄するときは、各自治体の指示に従ってください。

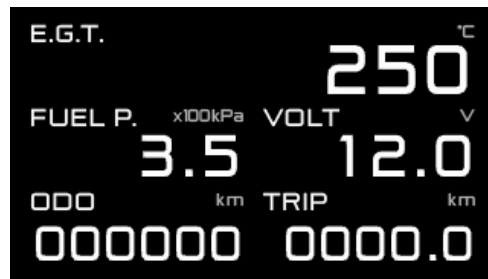
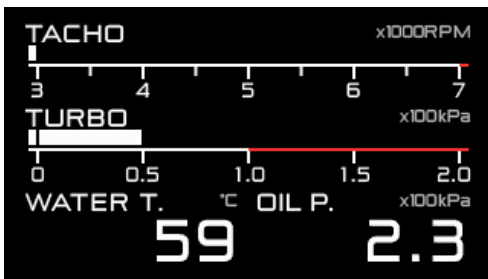
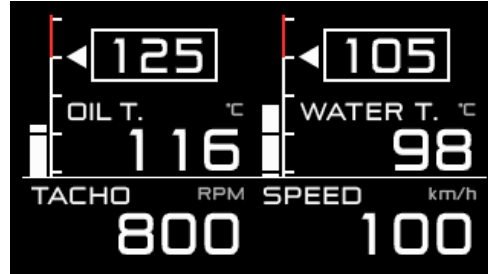
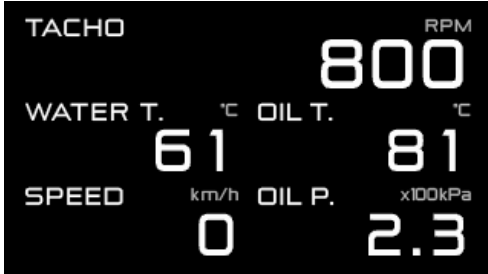
△ 本製品は高輝度 LED を使用しています。LED 生産上の公差による多少の色味の違いが発生する場合がありますが、製品の異常ではありません。

△ アイドリングストップ車の場合、アイドリングストップ時のバッテリー電圧の降下によりエンジン始動復帰時に製品の電源がオフ/オンする場合がありますが、製品の異常ではありません。

△ TFT カラー液晶は自己保護のため高温になると自動で明るさを減光しますが、異常ではありません。温度が下がると、もとの明るさに復帰します。

3. 特長(お客様へ)

- ・アドバンスシステム(双方向通信)採用
- ・本製品をアドバンスシステムにリンクすることで接続されたメーターの照明を自動調節
- ・4 パターンの表示モードが設定可能



- ・表示項目を任意にレイアウト可能(最大 6 項目同時表示可能)



- ・エンジン保護のため、ウォームアップモード搭載
- ・2 種類から選択可能なオープニングモードとエンディングモードで演出
- ・自己診断機能(センサーの断線・ショート、シリアル通信エラー)
- ・任意のワーニング値設定可能、ワーニング表示と同期してブザー音でも警告(ブザー音は ON/OFF の設定が可能)
- ・走行データ(走行中のピーク値、ワーニング値)を最大 3 分間記録し走行後に再生可能
- ・燃圧センサーとターボセンサーを接続することで燃圧計に差圧表示が可能
- ・LED8 個のシーケンシャル(シフトアップ)インジケーター機能搭載
- ・信号入力のある全機種 of ワーニングを出力するマスターワーニング機能搭載(ON/OFF の設定が可能)
- ・オド・トリップ表示機能搭載
- ・油温、水温、排気温は 0°C から表示可能
- ・アイドリング時に、オド・トリップ・アイドリング時間を表示するスペシャルモード搭載

4. 仕様(お客様・取り付け業者様へ)

電源電圧	10V ~ 16V DC (12V 車専用)	
アドバンスコントロールユニット消費電流 (メーターまたはディスプレイ合わせて 7 台接続時の最大値)	+B 線	2A (IGN ON 時) 1mA (IGN OFF 時)
	ILM 線	5mA
動作温度範囲	-20 ~ +60℃ (湿度 80%以下)	
保存温度範囲	-30 ~ +80℃ (湿度 80%以下)	
対応スピードパルス	2・4・8・16 パルス パルスフリー 1,274 ~ 16,562 パルス/km (2 ~ 26 パルス相当) (2,051 ~ 26,665 パルス / マイル)	
対応気筒数	1・2・3・4・5・6・8 (4 サイクル)	
外形 (mm)	各部名称・寸法参照	

4.1. 表示機種

表示機種		表示範囲	表示形態
車速 (SPEED)		0 ~ 399km/h (0 ~ 239MPH)	数値
エンジン回転数 (TACHO)		0 ~ 11,000rpm	数値/バー
OP1	ターボ (TURBO) / インマニ (IN-MF. P.)	-100 ~ 300kPa (-29.5inHg ~ 45.0PSI)	数値/バー
OP2	油圧 (OIL P.)	0 ~ 1,000kPa (0 ~ 145PSI)	数値
OP3	燃圧 (FUEL P.)	0 ~ 600kPa (0 ~ 87PSI)	数値
OP4	油温 (OIL T.)	0 ~ 150℃ (32 ~ 302°F)	数値
OP5	水温 (WATER T.)	0 ~ 150℃ (32 ~ 302°F)	数値
OP6	排気温度 (EXT. T.)	0 ~ 1,100℃ (32 ~ 2,012°F)	数値
差圧 (DIFF P.)		0 ~ 1,000kPa (0 ~ 145PSI)	数値
電圧 (VOLT)		10 ~ 16V	数値
オド (ODO)		0 ~ 999,999km (0 ~ 999,999mile)	数値
トリップ (TRIP)		0.0 ~ 9999.9km (0.0 ~ 9999.9mile)	数値
アイドリング (IDLING)		00:00 ~ 59:59	数値

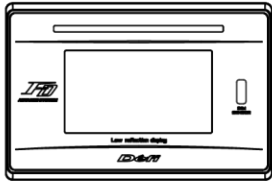
△OP1~OP6 を表示するためには、オプションパーツのセンサーセットが別途必要です。ただし、すでにアドバンスシリーズのセンサーとセンサーハーネスを取り付けている場合は、センサーセットを別途用意する必要はありません。

△200kPa(29PSI)を超える過給圧を正しく表示するには 300kPa(45PSI)用のターボセンサーが必要です。

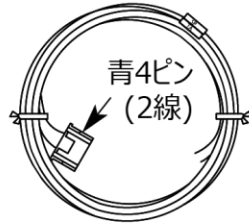
△差圧を表示するためには、ターボと燃圧のセンサー入力が必要です。

△オド(ODO)は表示範囲の上限値まで積算されますが、その時点で表示がロックされ積算が停止します。

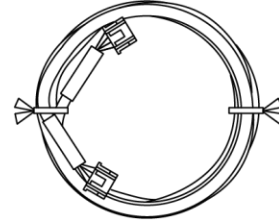
5. 構成部品(お客様・取り付け業者様へ)



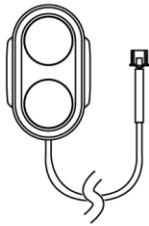
FD本体
1ヶ



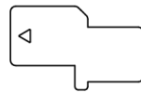
車速・エンジン回転数
信号ハーネス(2m) 1ヶ



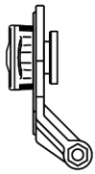
メーターハーネス(1m)
1ヶ



スイッチ(ハーネス45cm)
1ヶ



スイッチ取付ステー
1ヶ



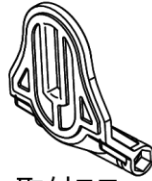
取付ステーセット
1ヶ

取付ステー付属品

取付ステーに付属品がセットされた状態で入っています



取付ノブ



取付ステー

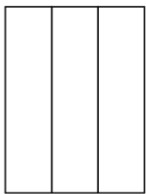


取付コマ



六角ボルト

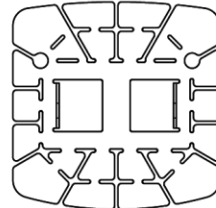
付属品



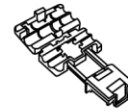
両面テープ
1ヶ



M4 ボルト&ナット、
ワッシャー 1ヶ



取付金
1ヶ



エレクトロタブ
2ヶ



モルトプレーン
1ヶ



ピタック
2ヶ



タイラップ
2ヶ

❶ 上記以外にスタートガイド、保証書が同梱されています。紛失しないよう、保管してください。

⚠ 本製品の動作にはアドバンスコントロールユニットが必要です。別途ご用意ください。

6. オプション・補修パーツ(お客様・取り付け業者様へ)

オプションパーツ名		品番
OP1	AD ターボセンサーセット	PDF07806SS
OP2	AD 油圧センサーセット	PDF08106SS
OP3	AD 燃圧センサーセット	PDF08205SS
OP4	AD 油温センサーセット	PDF08305SS
OP5	AD 水温センサーセット	PDF08405SS
OP6	AD 排気温度センサーセット	PDF08505SS
アドバンスインジケーター		DF09601

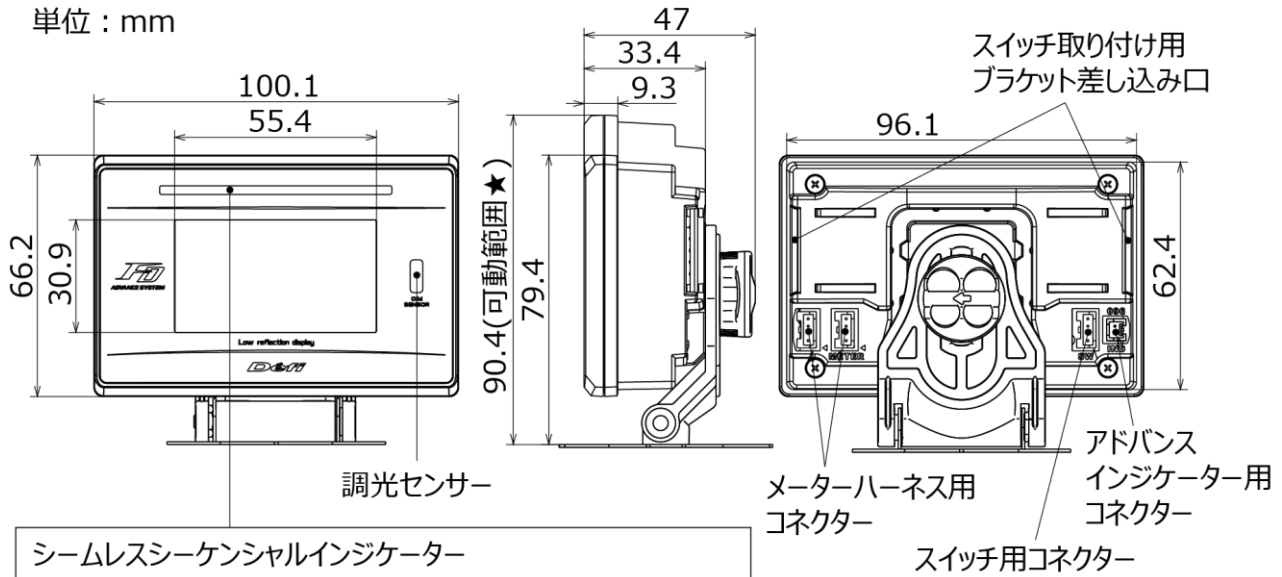
補修パーツ品名	品番
FDスイッチ取付ステー	PDF17801G
FD・Φ80タコメーター用スイッチ	PDF17803G
AD 車速・エンジン回転数信号ハーネス 2m	PDF09705H
AD メーターハーネス 1m	PDF07709H
AD メーター付属品	PDF07809G
取付ステーセット	PDF09702G
ターボセンサー(200kPa以下用)	PDF06503S
ターボセンサー(300kPa用)	PDF14604S
圧力センサー(油圧、燃圧共通)	PDF00703S
温度センサー(油温、水温共通)	PDF00903S
排気温度センサー	PDF01103S
排気温度センサーフィッティング	PDF01105G
ターボセンサーハーネス 2.5m	PDF06505H
AD 油圧センサーハーネス 3m	PDF08105H
燃圧センサーハーネス 2.5m	PDF06603H
油温センサーハーネス 3m	PDF05602H
水温センサーハーネス 3m	PDF05603H
排気温度センサーハーネス 2.5m	PDF06803H

AD=ADVANCE(アドバンス)システム専用

📌 最新の情報は Web サイトまたはお客様相談室にてご確認ください。

7. 各部名称・寸法(お客様・取り付け業者様へ)

単位：mm



シームレスシーケンシャルインジケータ



10灯のLEDが搭載されています。

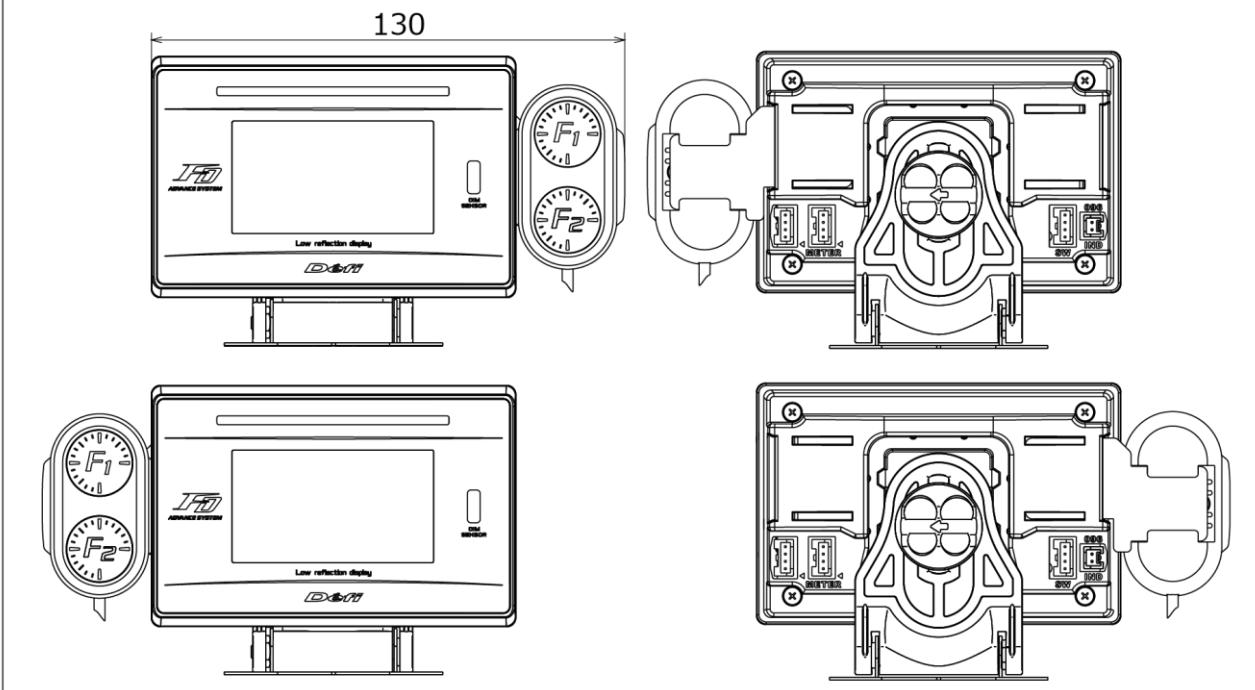
両端1灯ずつ：マスターワーニング(緑)

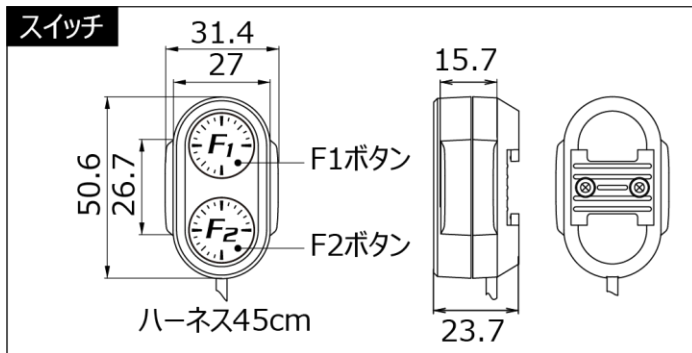
中央の8灯：シーケンシャルインジケータ(赤)

★可動範囲

FD本体は取付金に対して上下に可動で、前後左右にも傾けることができます。可動範囲は取り付け方によって異なります。

【スイッチ取り付け状態】 スwitchは左右どちらにでも取り付け可能です。



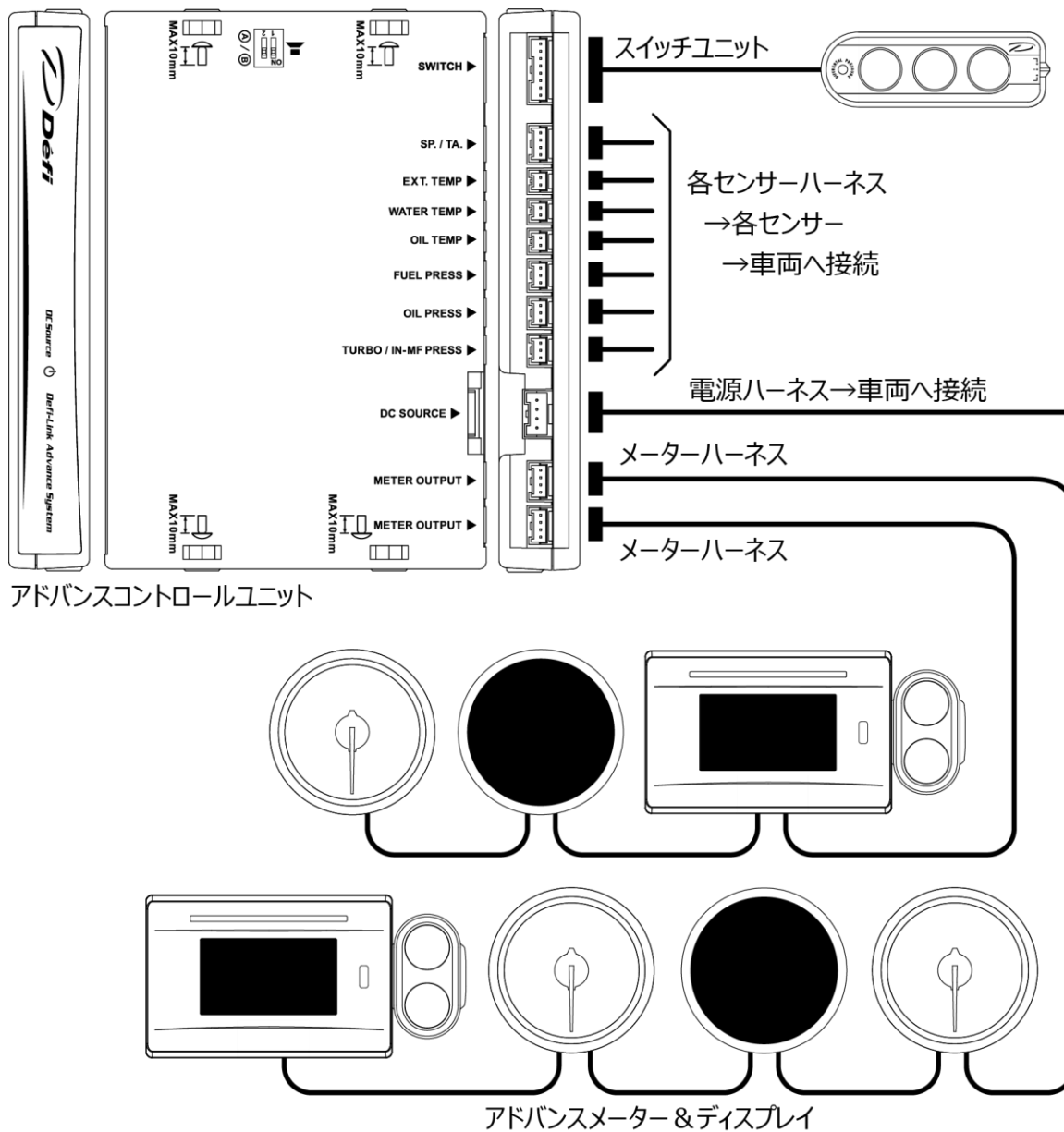


マスターワーニングはアドバンスインジケータと同様にワーニング成立時に点灯します。
アドバンスインジケータは別売です。

⇒8 取り付け方法(お客様・取り付け業者様へ)

⇒9.8 ワーニング設定モード

■アドバンスシステム接続全体図



メーターハーネスは 2 箇所ある METER OUTPUT のコネクタのどちらにも接続できます。

アドバンスコントロールユニット 1 台にアドバンスシリーズのメーターとディスプレイを合わせて 7 台まで接続可能です。

それぞれのラインに最大 7 台まで接続可能です。(例：片方に 7 台つなぐともう一方は 0 台)

同一表示(機種)のメーターは同時に接続できません。(例：ターボ計を 2 台)

ただし、ディスプレイを複数台同時に接続することは可能です。

8. 取り付け方法(お客様・取り付け業者様へ)

8.1. 内容物の確認

パッケージの内容物に不足している部品がないか確認します。

⇒5.構成部品(お客様・取り付け業者様へ)

8.2. アドバンスコントロールユニット及びセンサーの取り付け

コントロールユニット、各センサー及びセンサーハーネスをそれぞれの取扱説明書に従い取り付けます。

⇒アドバンスコントロールユニット取扱説明書参照

8.3. 車速・エンジン回転数信号ハーネスの配線

1. Web サイトの適用車種検索を参照し車両の適合確認を行います。
2. バッテリーのマイナスターミナルを外します。
3. Web サイトの適用車種検索を参照し、緑線(SP)を ECU の SP 信号に配線します。
4. Web サイトの適用車種検索を参照し、青線(TA)を ECU の TA 信号に配線します。すでにアドバンスシリーズのタコメーターのエンジン回転数信号線が配線してある場合は、そのハーネスの車速信号線のみを配線してください。(本製品付属の車速・エンジン回転数信号ハーネスは使用しません。)

⇒アドバンスコントロールユニット取扱説明書のハンダ付けのやり方、エレクトロタップの使用方法参照

5. 車速・エンジン回転数信号ハーネスをアドバンスコントロールユニットに接続します。
(既に接続してある場合は接続不要です。)

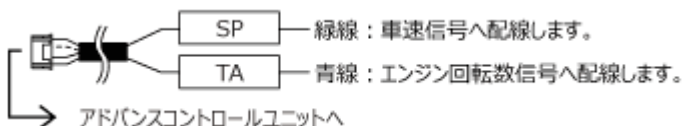
6. バッテリーのマイナスターミナルを接続します。

7. 製品の取り付け・配線終了後に、本取扱説明書の使用方法に基づき車速パルス数及び気筒数、応答性を設定します。

⇒9 使用方法(お客様へ)

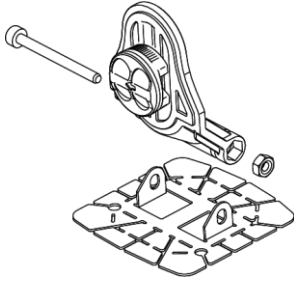
△車速・エンジン回転数信号ハーネスを配線する際の注意

❶ SP 線、TA 線のいずれかを配線しない場合、使用しない線はどこにも配線せず、全て確実に絶縁処理してください。

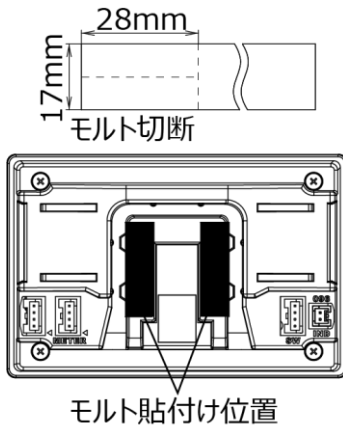


8.4. FD 本体・スイッチの取り付け及びメーターハーネスの配線

1. 取付ステーのスリットにあらかじめ取付コマと六角ボルトが通してあり、取付ノブが仮締めしてあることを確認します。
2. 取付ステー下部の溝に取付金の凸部を挿入し、付属のボルト・ナット・ワッシャーで締め付け、固定します。

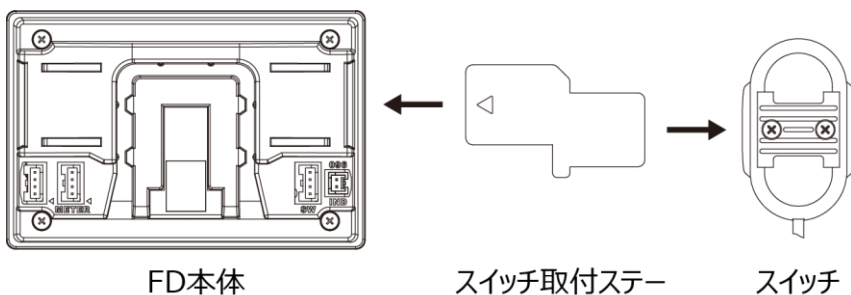


3. モルトプレーンを 28×8.5mm の大きさに切断し、FD の背面 2 箇所 に貼ります。



4. FD にスイッチを取り付けます。

- 4-1. スイッチ取付ステーを FD とスイッチに差し込みます。

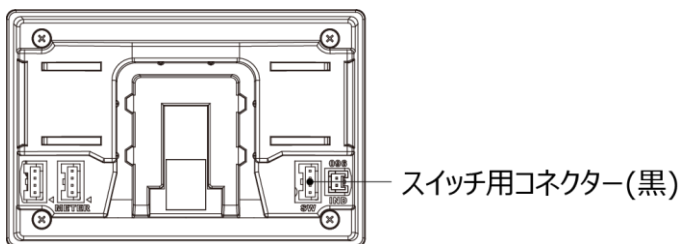


△三角(▷)の穴が開いている方が FD 本体側です。

△スイッチは FD 本体の左右どちらでも取り付け可能です。

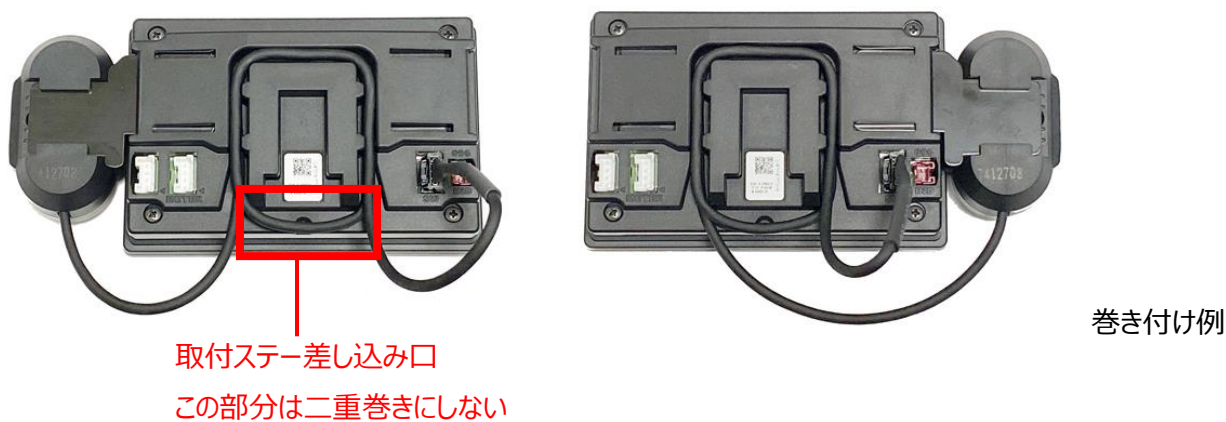
⚠ FD 本体にスイッチステーを差し込む際は、FD 本体とステーが水平になるように差し込んでください。

4-2.スイッチハーネスのコネクターを FD に接続します。



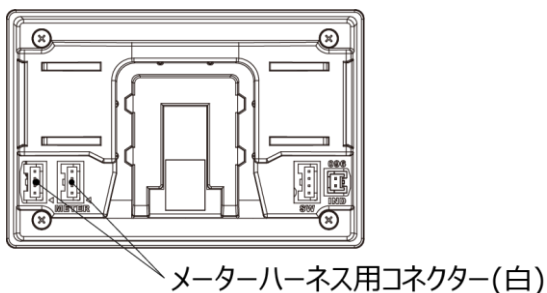
- ① スwitchハーネスの黒色コネクターを FD の黒色コネクターに差し込んでください。
- ② メーターハーネス用コネクター(白)へ差し込まないでください

4-3.必要に応じてスイッチハーネスを FD 背面の溝に巻き付けます。



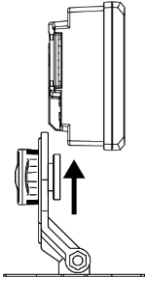
- ① ハーネスはゆるみを持たせて配線してください。強く引っ張ると断線するおそれがあります。
- ② FD 背面のスイッチハーネス用溝にハーネスを収納する場合は、取付ステー差し込み口の部分を一重巻き以下にしてください。二重に巻くと取付台の固定が不安定になったり、ノイズが発生し FD 本体および車両機能に影響を及ぼす可能性があります。

5.FD にメーターハーネスを接続します。



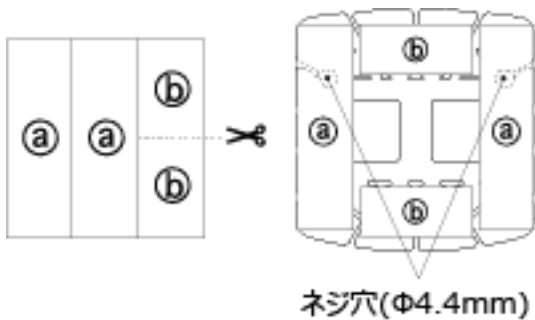
- ① メーターハーネスの白色コネクターを FD の白色コネクターに差し込んでください。
- ② スwitchハーネス用コネクター(黒)へ差し込まないでください。

6. FD 背面の溝に取付コマを差し込み、取付ノブを締めて取付ステーに FD を固定します。差し込みにくい場合は取付ノブを少し緩めてください。



7. 取り付けたい場所や、FD の高さ、角度を検討します。取付金は取り付けたい場所の形状に合わせて曲げることができます。

8. 取付金の裏面に両面テープ①と②を各 2 枚貼り付け、取り付けたい場所に貼り付けます。



9. 最後に各ボルト、取付ノブがしっかり締まっていることを確認してください。

10. アドバンスコントロールユニットの取扱説明書に従って取り付け最終確認をしてください。

⇒アドバンスコントロールユニット取扱説明書の取り付け方法参照

確認

❶ 両面テープを貼る面は、市販のクリーナーを使って、ホコリ・汚れ、油分をよく拭き取ってください。

△両面テープでの固定が不十分な場合、取付金の穴を利用し、市販のタッピングネジ(太さ 4mm)等で固定してください。

△スポーツ走行する際には FD 本体を車両インパネ等へ埋め込むことをおすすめします。

埋め込む場合は Web サイト マニュアルページの型紙をご利用ください。

8.5. 各種設定・動作確認

コントロールユニットや本製品の操作・設定には、コントロールユニット付属のスイッチユニットと本製品に付属のスイッチユニットを使用します。

1. イグニッションを ON し、アドバンスコントロールユニットの電源確認マークが点灯していることを確認してください。

⇒アドバンスコントロールユニット取扱説明書参照

2. オープニングモード表示(その後、リアルモード表示)が行われることを確認してください。

⇒9.6 オープニング・エンディングモード

3. デジタル表示でオープン・ショートのエラー表示が出ていないことを確認してください。

⇒9.9 エラー表示

エラー表示が出ている場合

→イグニッションを一旦 OFF にし、エラー表示が出ているセンサー及びセンサーハーネスをご確認ください。

4. システムセットアップモードでスピードパルス、気筒数設定、応答性等を設定してください。

⇒9.3 システムセットアップモード

5. 各表示項目及びワーニング値を設定してください。

⇒9.4 ディスプレイセットアップモード

⇒9.8 ワーニング設定モード

6. 本製品が正常に動作することを確認してください。確認ができれば設定は終わりです。

⚠警告

❗ 設定・確認は必ず車を停止した状態で行ってください。

9. 使用方法(お客様へ)

9.1. 状態遷移図

ADVANCE FD は、下図のようにシステム構成されています。



△DF177 シリーズのアドバンスコントロールユニットとリンクして使用する場合、レックモードとプレイモードはありません。

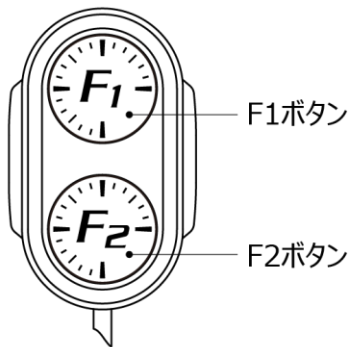
9.2. スイッチ・ボタン呼称

本書では操作するスイッチ・ボタンに応じて、それぞれ以下のように表記します。

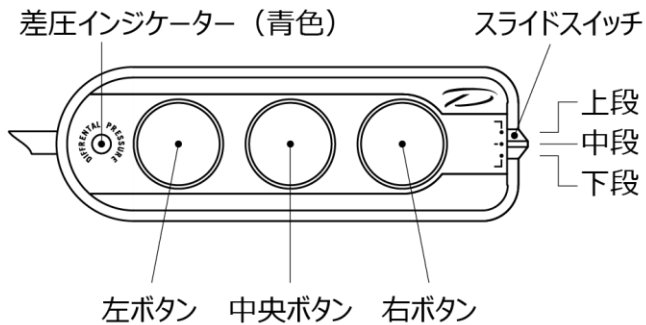
ADVANCE FD で操作する場合 **FD 操作**

アドバンスコントロールユニットで操作する場合 **CU 操作**

ADVANCE FD 付属スイッチ 照明色：白



コントロールユニット付属スイッチ 照明色：白



△注意

⊙スイッチは過剰な力で押さないでください。スイッチ取付ステーの変形や、ケースの破壊に繋がるおそれがあります。

9.3. システムセットアップモード

スピードパルス、気筒数、調光、ウォームアップ設定等を行うモードです。FD を取り付ける前にアドバンスタコメーターを取り付けていて、すでに気筒数と応答性が設定されている場合はFD の当該設定も変更されているため改めての設定は不要です。

⚠注意

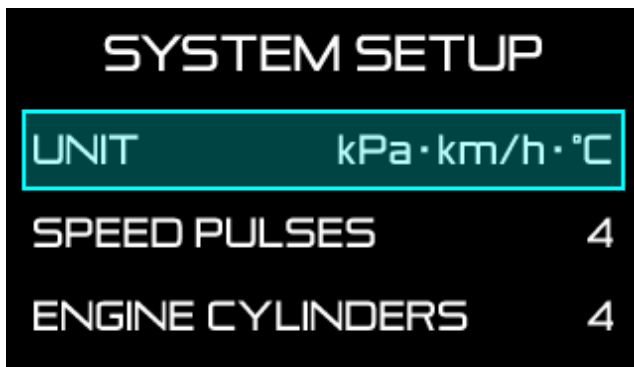
- ❶ 設定は必ず行ってください。設定を行わないと正常に作動しません。
- ❷ セットアップモードは車を停止した状態で行ってください。

設定項目	メニュー表示	選択項目	初期値
表示単位設定	UNIT	kPa・km/h・°C / PSI・MPH・°F	kPa・km/h・°C
スピードパルス設定	SPEED PULSES	2 / 4 / 8 / 16 / FREE	4
気筒数設定	ENGINE CYLINDERS	1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 8	4
タコメーター応答性設定	TACHO RESPONSE	1:HIGH / 2:MID / 3:LOW	1 : HIGH
調光設定	DIMMER	AUTO / MANUAL	MANUAL
スペシャルモード設定	SPECIAL MODE	ON / OFF	OFF
ウォームアップ設定	WARM UP MODE	WATER TEMP / OIL TEMP / OFF	OFF

メニューの最後に [CLOCK] が表示されますが、本製品に時計の機能は搭載されていないため設定もできません。

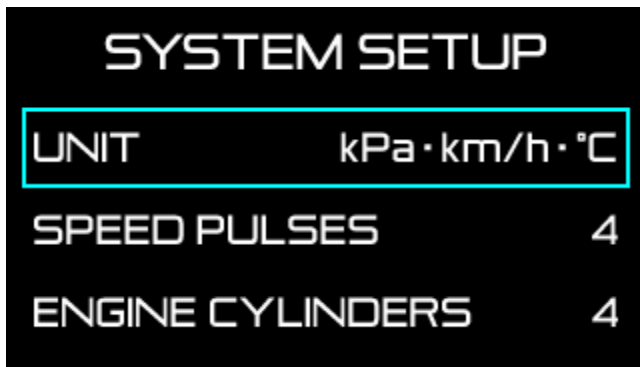
CU 操作 (スライドスイッチ位置 : 【下段】)

1. スライドスイッチを【下段】に合わせます。
2. 【左ボタン】を**長押し**するとセットアップモードに移行し、FD に [SYSTEM SETUP] メニューが表示されます。最初は単位設定モードになります。いずれかの項目の選択を決定するまでは選択枠の中が水色です。



3. 【中央ボタン】または【右ボタン】で設定項目に移動し、設定したい項目で【左ボタン】を押してください。選択枠の

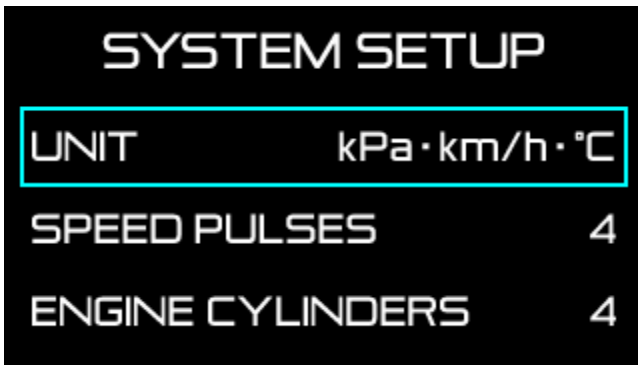
中の水色が消え、設定変更可能になります。



4. 【中央ボタン】または【右ボタン】で設定変更し、【左ボタン】を押して変更を確定します。選択枠の中が水色になります。

5. 全ての設定終了後、スライドスイッチを【上段】または【中段】に戻してください。

9.3.1. 表示単位設定 [UNIT]

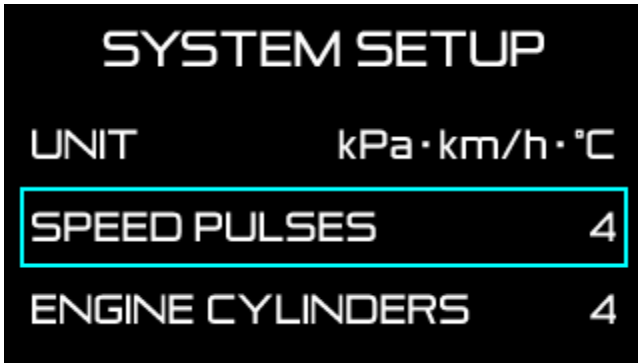


設定項目	メニュー表示	選択項目	初期値
表示単位設定	UNIT	kPa·km/h·°C / PSI·MPH·°F	kPa·km/h·°C

【中央ボタン】または【右ボタン】で [UNIT] に選択枠を合わせ、【左ボタン】を押します。

【中央ボタン】または【右ボタン】で [kPa·km/h·°C] と [PSI·MPH·°F] のどちらかを選択し、【左ボタン】で決定します。

9.3.2. スピードパルス設定 [SPEED PULSES]



設定項目	メニュー表示	選択項目	初期値
スピードパルス設定	SPEED PULSES	2 / 4 / 8 / 16 / FREE	4

【中央ボタン】または【右ボタン】で [SPEED PULSES] に選択枠を合わせ、【左ボタン】を押します。

【中央ボタン】または【右ボタン】でスピードパルスを選択し、【左ボタン】で決定します。

■ スピードパルス数について

スピードパルス数は車種により異なります。国産車のほとんどが 4 パルスですが、日産車では 2 パルス設定、8 パルス設定の車両があります。Web サイトの適用車種検索にパルスの記載がある場合はそのパルス数に合わせて設定してください。また、いずれの設定を行っても純正メーター等と合わない場合は、FREE 設定で設定すると合わせることがある場合があります。

■ パルスフリー設定

1. スピードパルスが 2・4・8・16 パルス以外の車種は、[FREE] を選択し【左ボタン】を押します。
2. パルスフリーでパルス設定を変更しない場合は、[CURRENT VALUE] を【中央ボタン】または【右ボタン】で選択し、【左ボタン】を押します。

パルス設定を行う場合は [NEW VALUE] を【中央ボタン】または【右ボタン】で選択し、【左ボタン】を押します。



3. [NEW VALUE] を選択した場合、純正メーターの車速が 60km/h または 40MPH の時に【左ボタン】を押すと、スピードパルス設定が完了します。



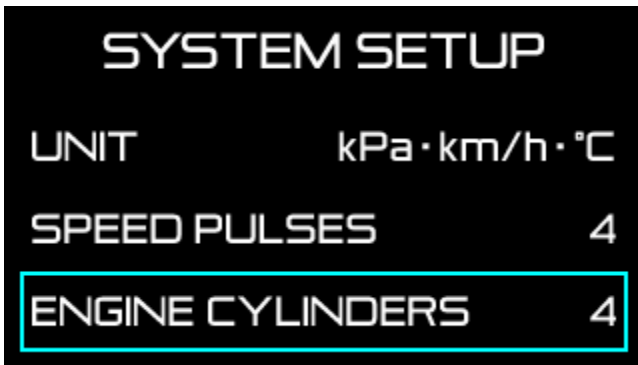
4. スピードパルスが設定範囲内の場合はブザーが鳴り [COMPLETED] と表示します。【左ボタン】で決定します。設定範囲外の場合は [INCOMPLETED] と表示します。【左ボタン】を押し、セットアップ画面に戻ります。



❗ 設定する際は、運転手以外の同乗している人が操作を行ってください。

⚠ 一部車種には対応できない場合があります。

9.3.3. 気筒数設定 [ENGINE CYLINDERS]



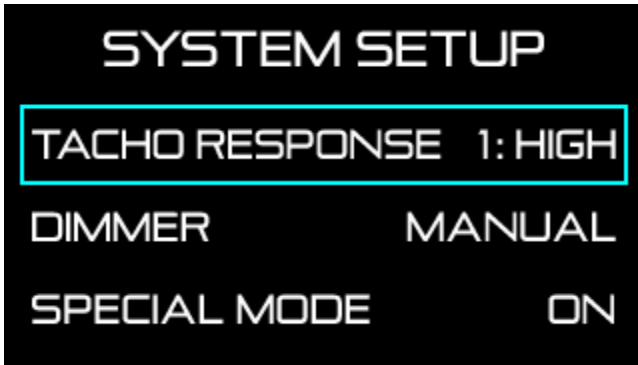
設定項目	メニュー表示	選択項目	初期値
気筒数設定	ENGINE CYLINDERS	1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 8	4

【中央ボタン】または【右ボタン】で [ENGINE CYLINDERS] に選択枠を合わせ、【左ボタン】を押します。

【中央ボタン】または【右ボタン】で気筒数を選択し、【左ボタン】で決定します。

△ローターエンジンの2ローターは4気筒(RX-8は2気筒設定)、3ローターは6気筒設定です。

9.3.4. タコメーター応答性設定 [TACHO RESPONSE]



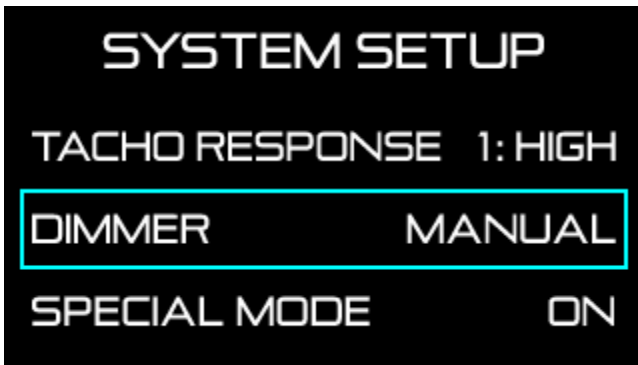
設定項目	メニュー表示	選択項目	初期値
タコメーター応答性設定	TACHO RESPONSE	1:HIGH / 2:MID / 3:LOW	1 : HIGH

【中央ボタン】または【右ボタン】で [TACHO RESPONSE] に選択枠を合わせ、【左ボタン】を押します。

【中央ボタン】または【右ボタン】でタコメーター応答性レベルを選択し、【左ボタン】で決定します。

エンジン回転数表示の動きを見ながらお好みのレスポンスに設定してください。

9.3.5. デイマー設定 [DIMMER]



設定項目	メニュー表示	選択項目	初期値
調光設定	DIMMER	AUTO / MANUAL	MANUAL

調光を自動で行うか、手動で行うかを設定します。

【中央ボタン】または【右ボタン】で [DIMMER] に選択枠を合わせ、【左ボタン】を押します。

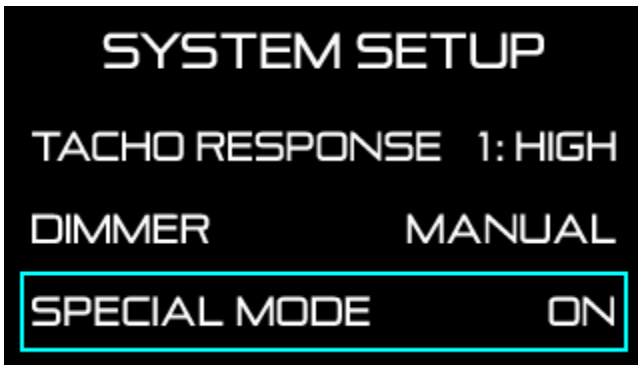
【中央ボタン】または【右ボタン】で [AUTO] か [MANUAL] を選択し、【左ボタン】で決定します。

[AUTO] を選択すると、周囲の明るさによって自動で表示の明るさを調整します。リアルモード、レックモード中に【右ボタン】で自動の 3 段階 + MAX 輝度固定(計 4 段階)の中から明るさのレベルが選べます。周囲が暗い状態で調整すると分かりやすいです。

[MANUAL] を選択すると、リアルモード、レックモード中に【右ボタン】で固定された 5 段階(夜間は 6 段階)の中から明るさのレベルが選べます。

⇒9.7.1 表示の明るさレベルの調整

9.3.6. スペシャル表示設定 [SPECIAL MODE]



設定項目	メニュー表示	選択項目	初期値
スペシャルモード設定	SPECIAL MODE	ON / OFF	OFF

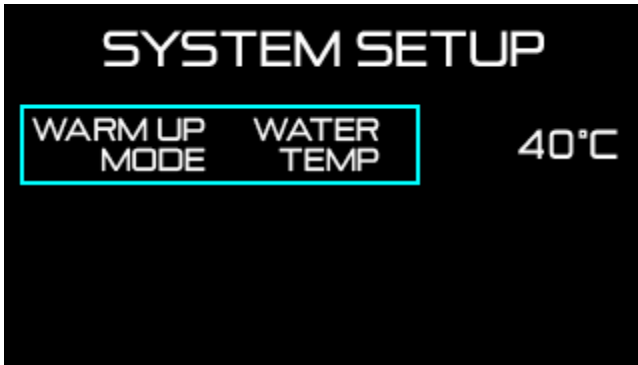
【中央ボタン】または【右ボタン】で [SPECIAL MODE] に選択枠を合わせ【左ボタン】を押します。

【中央ボタン】または【右ボタン】で [ON] か [OFF] を選択し、【左ボタン】で決定します。

スペシャル表示設定を ON にすると、車速 0km/h(MPH)入力が 10 秒続いた場合スペシャル表示になります。設定しない場合は、車速 0km/h(MPH)入力が 10 秒続いても通常動作します。

⇒9.7.2.5 スペシャル表示

9.3.7. ウォームアップ設定 [WARM UP MODE]

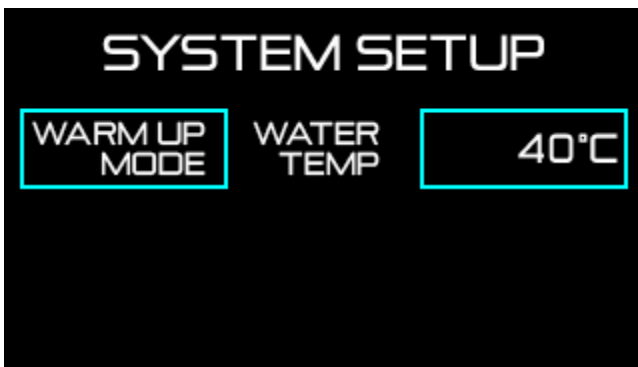


設定項目	メニュー表示	選択項目	初期値
ウォームアップ設定	WARM UP MODE	WATER TEMP / OIL TEMP / OFF	OFF

【中央ボタン】または【右ボタン】で [WARM UP MODE] に選択枠を合わせ、【左ボタン】を押します。

【中央ボタン】または【右ボタン】で [WATER TEMP] または [OIL TEMP] 、 [OFF] のいずれかを選択し【左ボタン】で決定します。

水温 [WATER TEMP] または 油温 [OIL TEMP] を選択した場合は、ウォームアップ完了温度を【中央ボタン】または【右ボタン】で設定します。【中央ボタン】または【右ボタン】を長押しすると数値が早送りになります。



【左ボタン】で決定します。

⇒9.7.2.4 ウォームアップ表示

9.3.8. アクティブディスプレイ設定

■ アクティブディスプレイの役割

ディスプレイには調光センサー(DIM SENSOR)が搭載されています。

複数のディスプレイを接続する場合、一つのアドバンスシステム内に調光センサーが複数存在することになるため、どの調光センサーを代表して使用するか決める必要があります。

デイマー設定を [AUTO] に設定した場合、複数あるディスプレイのうち、アクティブディスプレイとして設定されたディスプレイの調光センサーを使用して周囲の明るさをセンシングし、アドバンスシステムのそれぞれの機能に沿って照明の明るさを制御します。

❗ アクティブディスプレイを設定するためには、ディスプレイごとに異なるディスプレイ No. を割り当てる必要があります。同じディスプレイ No. のディスプレイを複数台リンクすると正常動作しません。

⇒9.4.9 ディスプレイ No. 設定 [DISPLAY NO.]

■ アクティブディスプレイの確認及び変更方法

CU 操作 (スライドスイッチ位置: 【下段】)

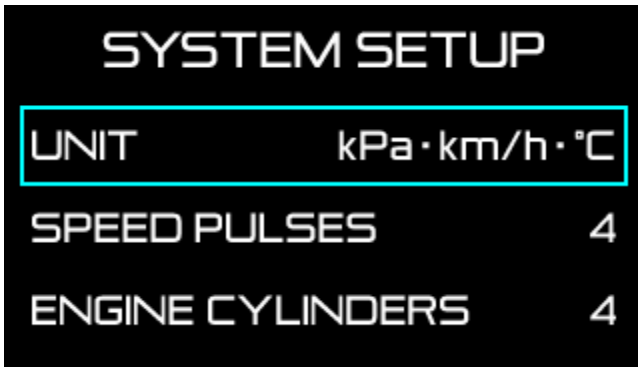
1. スライドスイッチを【下段】に合わせます。
2. 【右ボタン】を押すと FD のマルチ表示ゾーンに [ACTIVE] を表示し、【右ボタン】を押すたびにアクティブディスプレイが切り替わります。



※ディスプレイを 1 台しか接続していない場合は [ACTIVE] は表示されません。

⇒9.5.1 マルチ表示ゾーンについて

システムセットアップ時は、アクティブディスプレイにのみ [SYSTEM SETUP] メニューが表示されます。



アクティブディスプレイ以外の画面にはメニューが表示されません。



システムセットアップの下記項目のみ、FD ごとに設定が可能です。

- ・9.3.1 表示単位設定 [UNIT]
- ・9.3.6 スペシャル表示設定 [SPECIAL MODE]
- ・9.3.7 ウォームアップ設定 [WARM UP MODE]

複数の FD を接続している場合に、これらの設定を FD ごとに変更するには、設定変更したい FD をアクティブディスプレイに切り替えて行ってください。

次に出てくるディスプレイセットアップの項目はすべて FD ごとに設定が可能です。

9.4. ディスプレイセットアップモード

FD の表示設定を行うモードです。FD を複数台取り付ける場合は FD ごとに設定が必要です。

△注意

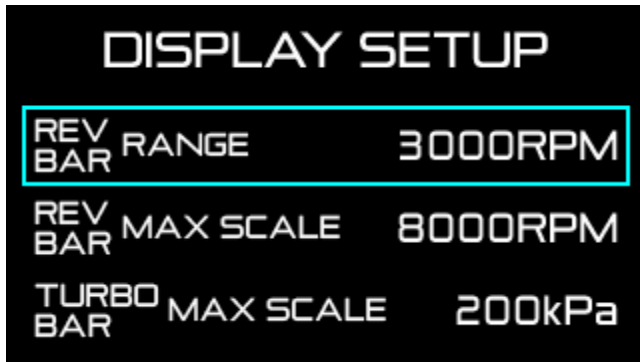
❶ ディスプレイセットアップモードは車を停止した状態で行ってください。

スペシャルモード表示中は、【F1 ボタン】または【F2 ボタン】を一度押し、スペシャルモード表示を終了した状態で設定してください。

設定項目	メニュー表示	選択項目	初期値
REV BAR 範囲設定	REV BAR RANGE	3000 / 4000	3000RPM
REV BAR 最大回転数設定	REV BAR MAX SCALE	3000~11000	8000RPM
TURBO BAR 最大値設定 (単位kPa選択時)	TURBO BAR MAX SCALE	300 / 200 / 120 / 20	200kPa
TURBO BAR 最大値設定 (単位PSI選択時)	TURBO BAR MAX SCALE	45 / 30 / 15 / 3	30PSI
シーケンシャルインジケータ 表示パターン設定	SEQ. IND. PATTERN	SINGLE / DUAL	SINGLE
シーケンシャルインジケータ 点灯ステップ設定	SEQ. IND. STEP	100 / 200 / 250 / 500	200RPM
シーケンシャルインジケータ 点灯ON/OFF設定	SEQ. IND.	ON / OFF	ON
油圧ワーニング制限設定	OIL PRESS WARNING LIMIT	0~11000	3000RPM
ワーニングブザー設定	DISPLAY WARNING BUZZER	OFF / ON	OFF
ディスプレイ No. 設定	DISPLAY NO.	0~7	No.6
マニュアル	マニュアルページへの二次元バーコード	—	—

FD 操作

1.リアルモード中に【F1 ボタン】と【F2 ボタン】を同時押しするとディスプレイセットアップモードに移行し、FD に [DISPLAY SETUP] メニューが表示されます。最初は REV BAR 範囲設定になります。

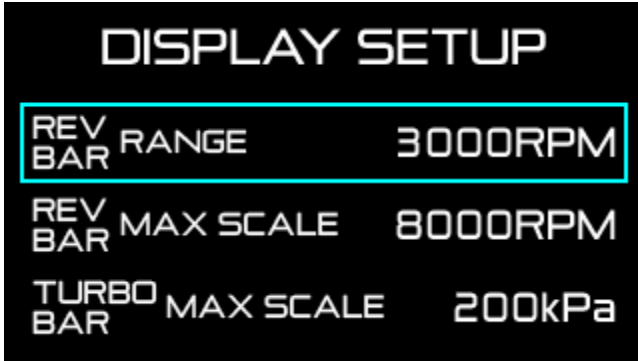


2. 【F2 ボタン】で設定したい項目まで選択枠を移動し、【F1 ボタン】を押すと設定変更できます。

3.全ての設定終了後、【F1 ボタン】と【F2 ボタン】を同時押しするとリアルモードに戻ります。

9.4.1. REV BAR 範囲設定 [REV BAR RANGE]

エンジン回転数をバー表示する場合の表示範囲(表示最大回転数と表示最低回転数との差)を設定します。



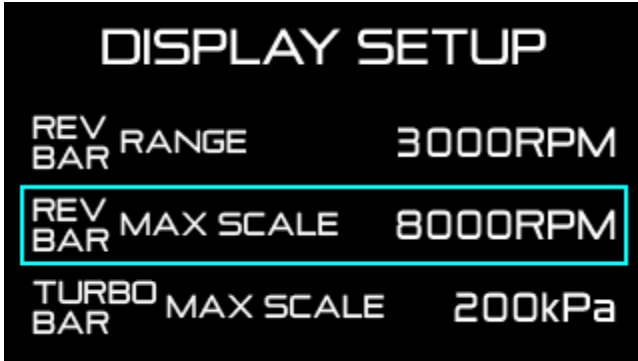
設定項目	メニュー表示	選択項目	初期値
REV BAR 範囲設定	REV BAR RANGE	3000 / 4000	3000RPM

【F2 ボタン】で [REV BAR RANGE] に選択枠を合わせます。

【F1 ボタン】で [3000RPM] か [4000RPM] を選択します。

9.4.2. REV BAR 最大回転数設定 [REV BAR MAX SCALE]

エンジン回転数をバー表示する場合の最大回転数を設定します。



設定項目	メニュー表示	選択項目	初期値
REV BAR 最大回転数設定	REV BAR MAX SCALE	3000~11000	8000RPM

【F2 ボタン】で [REV BAR MAX SCALE] に選択枠を合わせます。

【F1 ボタン】を押す毎に、設定値が表示値+500RPM になります。

REV BAR 表示回転数設定 [3000RPM] 時の REV BAR 最大回転数設定下限は 3000RPM、
REV BAR 表示回転数設定 [4000RPM] 時の REV BAR 最大回転数設定下限は 4000RPM です。

<例>

REV BAR RANGE: 3000RPM

REV BAR MAX SCALE: 8000RPM

表示範囲 : 5000RPM ~ 8000RPM

REV BAR RANGE: 4000RPM

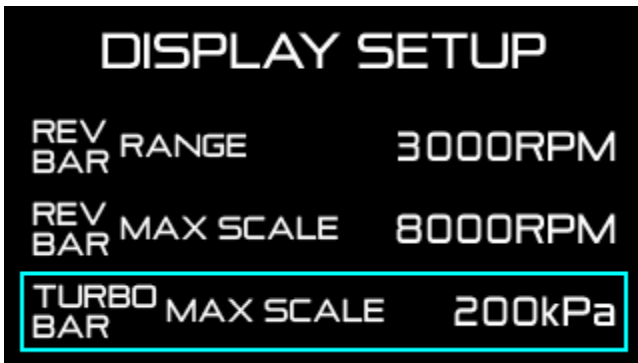
REV BAR MAX SCALE: 8000RPM

表示範囲 : 4000RPM ~ 8000RPM



9.4.3. TURBO BAR 最大値設定 [TURBO BAR MAX SCALE]

ターボ/インマニ値をバー表示する場合の最大圧力値を設定します。



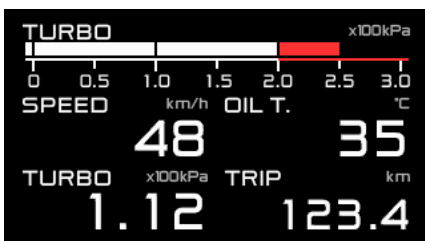
設定項目	メニュー表示	選択項目	初期値
TURBO BAR 最大値設定 (単位kPa選択時)	TURBO BAR MAX SCALE	300 / 200 / 120 / 20	200kPa
TURBO BAR 最大値設定 (単位PSI選択時)	TURBO BAR MAX SCALE	45 / 30 / 15 / 3	30PSI

【F2 ボタン】で [TURBO BAR MAX SCALE] に選択枠を合わせます。

【F1 ボタン】を押し、TURBO BAR 最大圧力値を選択します。

❗ [300] は、300kPa 専用ターボセンサーと組み合わせてご使用ください。それ以外のターボセンサーと組み合わせて使用した場合は正しい値が表示されません。

300kPa



200kPa



120kPa



20kPa



9.4.4. シーケンシャルインジケータ表示パターン設定 [SEQ. IND. PATTERN]

シーケンシャルインジケータの表示パターンを2種類のうちから選びます。



設定項目	メニュー表示	選択項目	初期値
シーケンシャルインジケータ表示パターン設定	SEQ. IND. PATTERN	SINGLE / DUAL	SINGLE

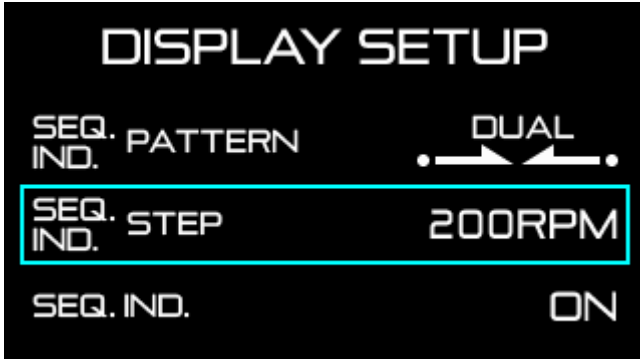
【F2 ボタン】で [SEQ. IND. PATTERN] に選択枠を合わせます。

【F1 ボタン】で [SINGLE] か [DUAL] を選択します。

⇒9.10 シーケンシャルインジケータ

9.4.5. シーケンシャルインジケータ点灯ステップ設定 [SEQ. IND. STEP]

シーケンシャルインジケータの点灯ステップを設定します。



設定項目	メニュー表示	選択項目	初期値
シーケンシャルインジケータ点灯ステップ設定	SEQ. IND. STEP	100 / 200 / 250 / 500	200RPM

【F2 ボタン】で [SEQ. IND. STEP] に選択枠を合わせます。

【F1 ボタン】を押し、点灯ステップを選択します。

⇒9.10 シーケンシャルインジケータ

9.4.6. シーケンシャルインジケータ表示 ON/OFF 設定 [SEQ.IND.]

シーケンシャルインジケータ点灯の ON/OFF を設定します。



設定項目	メニュー表示	選択項目	初期値
シーケンシャルインジケータ点灯ON/OFF設定	SEQ. IND.	ON / OFF	ON

【F2 ボタン】で [SEQ. IND.] に選択枠を合わせます。

【F1 ボタン】で [ON] か [OFF] を選択します。

⇒9.10 シーケンシャルインジケータ

9.4.7. 油圧ワーニング制限設定 [OIL PRESS WARNING LIMIT]

油圧ワーニング制限設定で設定したエンジン回転数未満の時に油圧のワーニング機能を停止します。

※設定した FD にのみ適用されます。



設定項目	メニュー表示	選択項目	初期値
油圧ワーニング制限設定	OIL PRESS WARNING LIMIT	0~11000	3000RPM

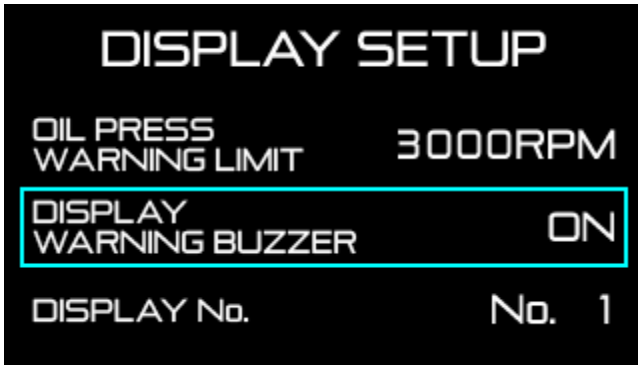
【F2 ボタン】で [OIL PRESS WARNING LIMIT] に選択枠を合わせます。

【F1 ボタン】を押す毎に、設定値が表示値+500RPM になります。

9.4.8. ワーニングブザー設定 [DISPLAY WARNING BUZZER]

ワーニング発生時にFDのブザーを鳴らすかどうかの設定をします。

プレイモードでは、ワーニングブザー設定がONでもブザーは鳴りません。(ワーニング表示はされます。)



設定項目	メニュー表示	選択項目	初期値
ワーニングブザー設定	DISPLAY WARNING BUZZER	OFF / ON	OFF

【F2 ボタン】で [DISPLAY WARNING BUZZER] に選択枠を合わせます。

【F1 ボタン】で [ON] か [OFF] を選択します。

△コントロールユニットのブザーは連動しません。コントロールユニットの取扱説明書を参照して設定してください。ワーニングブザー設定は、コントロールユニットをOFF、FDをONにすることを推奨します。

△ワーニング時のブザーON/OFFは設定可能ですが、ボタン操作時のブザーはOFFにできません。

9.4.9. ディスプレイ No. 設定 [DISPLAY NO.]

FD を含むディスプレイ製品にはディスプレイ No.の設定があり、複数のディスプレイを取り付ける場合にはそれぞれ異なるディスプレイ No.を割り当てる必要があります。初期設定では以下の通り数字が割り当てられています。

アドバンスシステムに接続可能なディスプレイ製品とディスプレイ No.の初期設定値

- ・ADVANCE FD : No.6
- ・ADVANCE ZD(生産終了) : No.1
- ・Defi Sports Display F : No.7



設定項目	メニュー表示	選択項目	初期値
ディスプレイ No. 設定	DISPLAY NO.	0~7	No.6

【F2 ボタン】で [DISPLAY No.] に選択枠を合わせます。

【F1 ボタン】でディスプレイ No.を設定します。

ディスプレイ No.を変更した場合はイグニッションキーを一度 OFF し、再度 ON してください。

❶他の車両に装着していたディスプレイを取り外して別のディスプレイ装着済みの車両に追加する場合や、同時に新品のFDを複数台取り付ける場合は、各ディスプレイが同じディスプレイ No.にならないように変更してください。ディスプレイ 1 台のみの設置の場合は初期値を変更する必要はありません。同じディスプレイ No.のディスプレイを複数台リンクすると正常動作しません。

番号は続いた数字にする必要はありません。また順番にも決まりはありません。

⇒9.3.8 アクティブディスプレイ設定

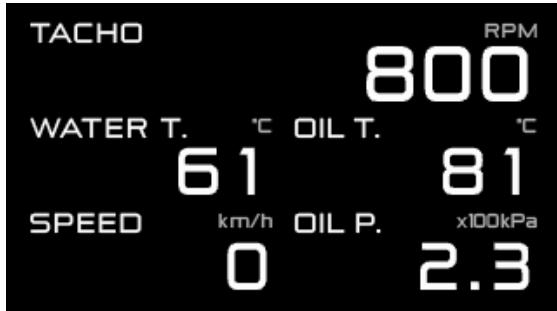
9.4.10. マニュアル 二次元バーコード [MANUAL]

Defi Web サイト上にある取扱説明書データへのリンクが記載された二次元バーコードです。



9.5. 表示項目とサイズ切り替え

FDには4つの表示モード(ゲージ1、ゲージ2、ゲージ3、ゲージ4)があり、それぞれの表示モードにおいて、表示項目の位置、サイズを変更できます。初期設定ではオープニングモード終了後ゲージ1になります。



ゲージ1

⇒4.1 表示機種

⇒9.7.2 リアルモード

⇒9.7.2.1 ゲージ1~4表示

表示部分を6つのゾーンに分割し(Zone A)、下図のように各ゾーンのサイズを変更することができます(Zone B、C)。

Zone A1	Zone A2	Zone B1		Zone C1	Zone C2
Zone A3	Zone A4	Zone B2			
Zone A5	Zone A6	Zone A5	Zone A6	Zone A5	Zone A6

■ 表示可能項目

Zone A : 基本表示形

車速 / 回転数(デジタル) / ターボ・インマニ(デジタル) / 油圧 / 燃圧 / 油温 / 水温 / 排気温度 / 電圧 / オド / トリップ / 表示なし

Zone B : 拡大表示及びバー表示

車速 / 回転数(デジタル) / 回転数(バー) / ターボ・インマニ(デジタル) / ターボ・インマニ(バー) / 油圧 / 燃圧 / 油温 / 水温 / 排気温度 / 電圧 / オド / トリップ / 表示なし

Zone C : グラフ表示

油温 / 水温 / 表示なし

(ワーニング設定値に対して-15~+5℃/°Fでグラフ表示 + 基本表示 + ワーニング設定値表示)

Zone AとBのターボ・インマニは、ディスプレイセットアップのTURBO BAR 最大値設定において300、200、120kPaのいずれかを選択している場合はターボ表示となり、20kPaを選択している場合はインマニ表示となります。

CU 操作 (スライドスイッチ位置：【下段】)

- 1.スライドスイッチを【下段】に合わせます。
- 2.【中央ボタン】と【右ボタン】を同時押しすると Zone1(A1 または B1 または C1)に選択枠が表示されます。
- 3.【中央ボタン】で変更ゾーンを指定します。
- 4.【右ボタン】を押しゾーン A、B、C の切り替えをします。

Zone A1 ⇔ B1 ⇔ C1(⇔ 繰り返し)

Zone A3 ⇔ B2

Zone A2 ⇔ C2

⇒9.7.2.1 ゲージ 1~4 表示

- 5.【左ボタン】を押しサイズを確定すると、そのゾーンの選択枠の中が水色が消え、表示項目選択が可能になります。
- 6.【中央ボタン】または【右ボタン】で表示項目を変更し、【左ボタン】を押して変更を確定します。
- 7.全ての設定終了後、スライドスイッチを【上段】または【中段】に戻してください。

9.5.1. マルチ表示ゾーンについて

Zone A5 はマルチ表示ゾーンです。表示項目を設定しても、調光レベル変更時や、ワーニング発生時等に自動的に表示が切り替わります。常に表示させたい項目の表示位置には使用しないでください。



9.6. オープニング・エンディングモード

イグニッションを ON するとオープニングモードを行います。また、全ての状態において、イグニッションを OFF するとエンディングモードを行い、モード終了後にアドバンスコントロールユニットと FD の電源が切れます。



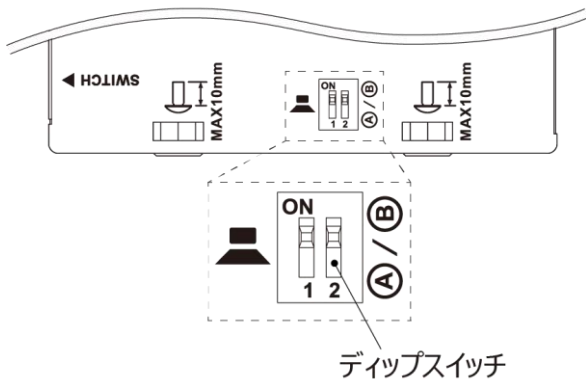
△車両によってはキーを OFF にしてもイグニッションがすぐに OFF にならない場合があります。その場合は、車両のイグニッションが OFF になるまでエンディングモードは行われません。

■ オープニング・エンディングモードの変更について

アドバンスコントロールユニットに付いているオープニング・エンディングモード切り替え用のディップスイッチ 2 をスライドさせることでオープニング・エンディングモードを A タイプ・B タイプの 2 種類から選ぶことができます。(他にメーターを取り付けている場合は、それらのオープニング・エンディングモードも切り替わります。)

A タイプ・B タイプともにデジタル表示以外にシーケンシャルインジケータ点灯などによる演出があります。切り替えて実際の演出をご確認ください。

アドバンスコントロールユニット



❶ モードの変更はイグニッション OFF 時に行ってください。

9.7. 各動作モード

△警告

Ⓛ 走行中は安全のため本製品の情報の確認は最小限の時間にとどめ、長時間凝視しないでください。前方不注意による事故の原因となり大変危険です。操作は車を停止して行ってください。

△DF177 シリーズのアドバンスコントロールユニットとリンクして使用する場合、レックモードとプレイモードはありません。

9.7.1. 表示の明るさレベルの調整

CU 操作 (スライドスイッチ位置：【上段】)

リアルモード中にコントロールユニットの【右ボタン】でディスプレイの明るさを変更することができます。システムセットアップモードのデイマー設定で設定された [AUTO] または [MANUAL] に応じた明るさに調整されます。

⇒9.3.5 デイマー設定 [DIMMER]

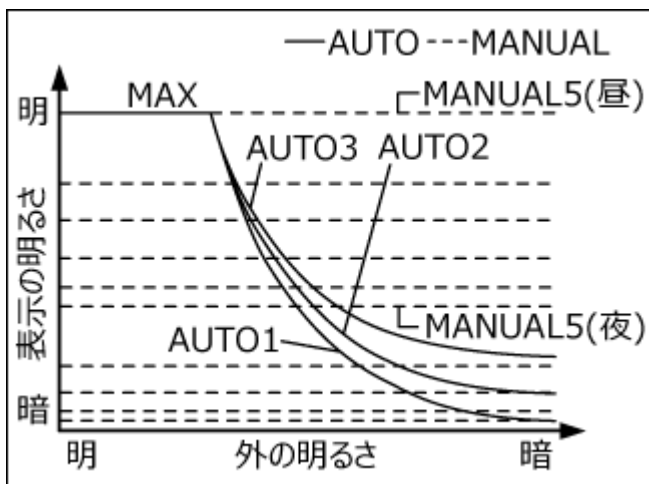
AUTO : 3 段階の自動明るさレベルと MAX 輝度固定の 4 段階(車両のイルミスイッチには連動はしません)

MANUAL : 車両のイルミスイッチに連動して昼夜各 5 段階(夜間は MAX 輝度固定を含めて 6 段階)

初期設定

MANUAL : ILM. LEVEL5

AUTO : ILM. LEVEL3



FDと接続しデイマー設定を [AUTO] にすることにより、次表のようにアドバンスシリーズのメーター照明も自動で制御されます。

	AUTO	MANUAL
FD 液晶表示	自動調光	車両イルミ連動(昼夜各5段階)
FD シーケンシャルインジケータ	自動切替(昼夜各1段階)	車両イルミ連動(昼夜各1段階)
FD スイッチ照明	自動切替(点灯/消灯)	車両イルミ連動(点灯/消灯)
ユニットスイッチ照明	自動切替(点灯/消灯)	車両イルミ連動(点灯/消灯)
ADVANCE CR・RS 照明	自動切替(点灯/消灯)	車両イルミ連動(点灯/消灯)
ADVANCE BF・A1 照明	自動調光	車両イルミ連動(昼夜各5段階)

明るさレベル変更時、マルチ表示ゾーンに 0.5 秒間明るさレベルを表示します。



9.7.2. リアルモード

オープニングモード終了後にリアルモードへ移行します。リアルモード中は車両情報をリアルタイムに表示します。

9.7.2.1. ゲージ 1～4 表示

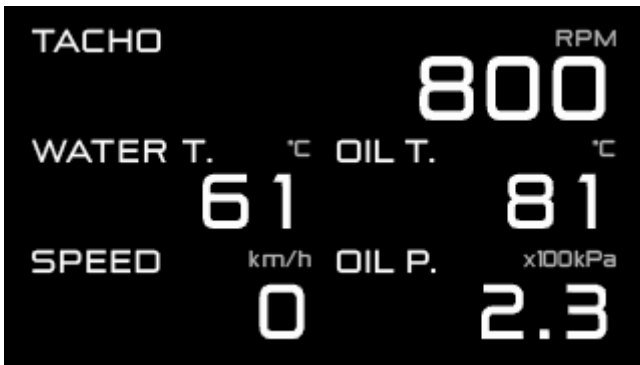
リアルモードには 1 ～ 4 の 4 種類のゲージ表示(レイアウト)があります。全てのゾーンで表示項目の変更が可能です。

■ゲージ表示切り替え

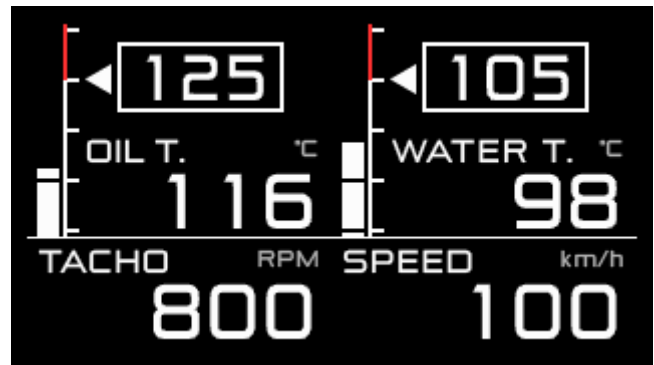
FD 操作

【F1 ボタン】を押す毎にゲージ表示の切り替えができます。初期設定はゲージ 1 です。

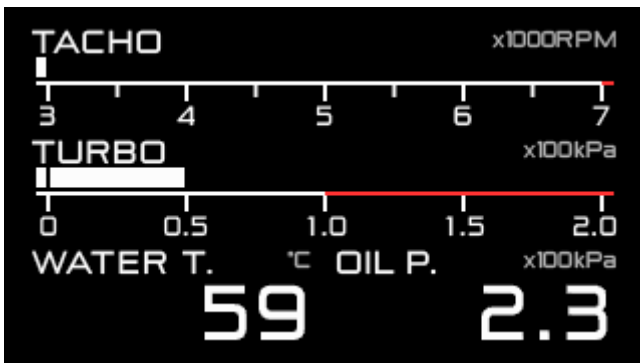
ゲージ 1



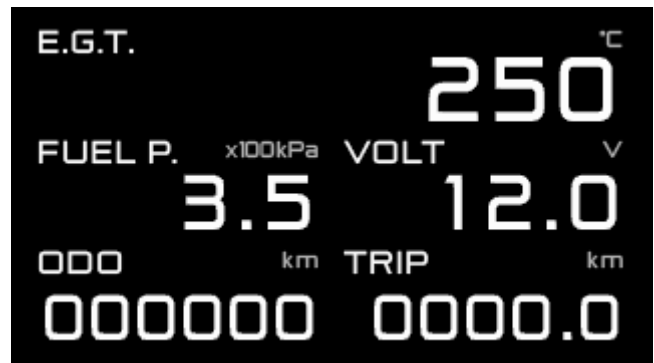
ゲージ 2



ゲージ 3



ゲージ 4



表示項目のセンサーが接続されていない場合は、「×」を表示します。

⇒9.5 表示項目とサイズ切り替え

■トリップリセット

FD 操作

[TRIP] 表示時に【F2 ボタン】を長押しするとトリップ値をリセットできます。

△ODO はリセットできません。

△車速、ODO、TRIP は参考値です。車速設定に誤差が生じると、車速だけでなく ODO、TRIP の誤差が累積します。

9.7.2.2. ワーニング表示



設定したワーニング値以上になった場合、デジタル表示内の当該表示が赤背景になります。ワーニング状態が 5 秒未満でも赤背景表示は最低 5 秒間続きます。

油圧・燃圧は設定したワーニング値以下で表示が赤背景になります。

このとき、ワーニングブザー設定を ON にしている場合はワーニングブザーが鳴ります。

回転数(デジタル)、回転数(バー)、ターボ/インマニ(バー)はワーニング値以上になっても赤背景表示しません。また、車速、電圧にワーニング機能はありません。

ワーニングブザーは、コントロールユニット、FD それぞれにあり、個別に ON/OFF できます。

FD のワーニング出力が ON の場合はマスターワーニングが点灯し、別売のアドバンスインジケータを FD に接続することでアドバンスインジケータが点灯します。

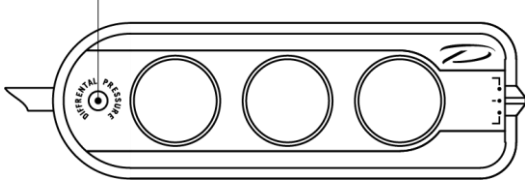
⇒9.4.8 ワーニングブザー設定 [DISPLAY WARNING BUZZER]

⇒9.8 ワーニング設定モード

9.7.2.3. 差圧表示

ターボセンサーと燃圧センサーを取り付けている場合、燃圧表示ゾーンで燃圧とインテークマニホールド圧の差を表示することが可能です。ピークモード中は差圧表示できません。差圧表示中はスイッチユニットの差圧インジケータ(青色)が点灯します。

差圧インジケータ (青色)



CU 操作 (スライドスイッチ位置 : 【上段】)

- 1.スライドスイッチを【上段】に合わせます。
- 2.【中央ボタン】と【右ボタン】を同時押しすると差圧表示になります。再度【中央ボタン】と【右ボタン】を同時押しすると差圧表示を終了します。

9.7.2.4. ウォームアップ表示



システムセットアップモードでウォームアップが水温または油温に設定しており、実温度が設定温度より低い場合は、ウォームアップ表示を行います。

ウォームアップ中は、ウォームアップ設定項目(水温または油温)の背景が青くなります。(C表示の場合はウォームアップ設定温度の背景が青くなります)

実温度が設定温度以上になるとウォームアップ表示を終了します。

△ウォームアップ中は、スペシャル表示が ON に設定してある場合でもスペシャル表示はしません。

9.7.2.5. スペシャル表示



システムセットアップモードでスペシャル表示が ON に設定してあり、車速 0km/h(0MPH)が 10 秒以上続いた場合はスペシャル表示を行います。スペシャル表示中は、オドメーター表示、トリップメーター表示、及びアイドリング時間表示を行います。

エンジン停止中はアイドリング時間のカウントは行いません。

以下の場合にはスペシャル表示を終了し、ゲージ表示に戻ります。

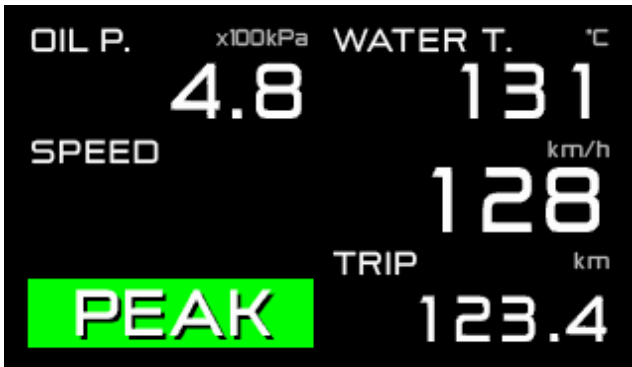
- ・スピードパルス入力があった場合
- ・【F1 ボタン】または【F2 ボタン】を押した場合
- ・ユニット操作でモード変更した場合

なお、以下の場合にはスペシャル表示が ON 設定でもスペシャル表示を行いません。

- ・ウォームアップ中
- ・ワーニングが発生している場合
- ・センサーがオープンまたはショートしている場合

スペシャル表示中に【F1 ボタン】または【F2 ボタン】を押した場合、及びユニット操作でモード変更した場合はスペシャル表示を終了しますが、車速入力が無い状態が続けば、アイドリング時間は継続してカウントし、10 秒経過後スペシャル表示時に累積した時間を表示します。

9.7.3. リアルピークモード



リアルモード中に、それまでの走行・アイドリング時の最大値を表示するモードです。油圧、燃圧は最大値と最小値を切り替え表示します。リセットするとその時点からのピーク値を表示します。差圧表示をしている場合でも、燃圧計には燃圧のピーク値が表示されます。ピークモード中は、マルチ表示ゾーンに [PEAK] を表示します。そのときエンジン回転数がワーニング設定値以上の場合はシーケンシャルインジケーターが点滅します。

CU 操作 (スライドスイッチ位置：【上段】)

■ 油圧・燃圧センサーを接続していない場合

- 1.スライドスイッチを【上段】に合わせます。
- 2.【中央ボタン】を押すとリアルピークモードに移行します。
- 3.再度【中央ボタン】を押すとリアルモードに戻ります。

■ 油圧・燃圧センサーを接続している場合

- 1.スライドスイッチを【上段】に合わせます。
- 2.【中央ボタン】を押すとリアルピークモード(ハイピーク)に移行し最大値が表示されます。
- 3.ハイピーク表示中に【中央ボタン】を押すとリアルピークモード(ローピーク)に移行します。油圧及び燃圧は最小値、それ以外は最大値が表示されます。
- 4.再度【中央ボタン】を押すとリアルモードに戻ります。

9.7.4. リアルピークリセットモード



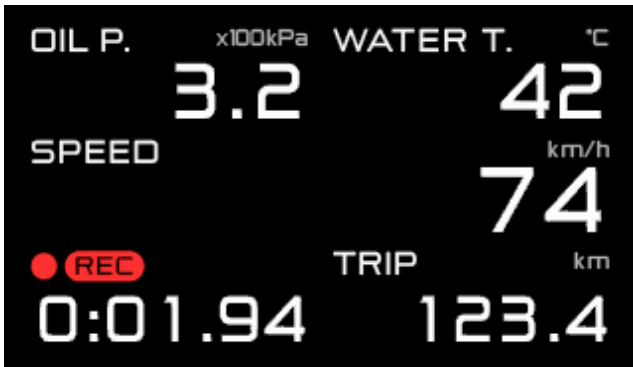
それまでの走行・アイドリング時の最大値(油圧・燃圧は最大値と最小値)をリセットするモードです。ピークリセットモード中は、マルチ表示ゾーンに 1 秒間 [RESET] を表示します。

CU 操作 (スライドスイッチ位置：【上段】)

- 1.スライドスイッチを【上段】に合わせます。
- 2.【中央ボタン】を押すとリアルピークモードに移行します。
- 3.リアルピークモード中に【右ボタン】を押すとピーク値がリセットされます。リセット後はリアルモードに戻ります。

ローピークとハイピークどちらの表示のときも最大値と最小値の両方が同時にリセットされます。

9.7.5. レックモード

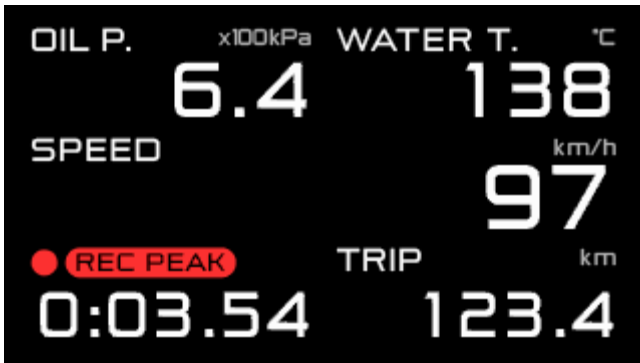


各機種 of 走行データを最大 3 分間記録するモードです。レックモード中は、マルチ表示ゾーンに [●REC] を表示します。

CU 操作 (スライドスイッチ位置：【上段】)

- 1.スライドスイッチを【上段】に合わせます。
- 2.【左ボタン】を押すとレックモードに移行し、記録を開始します。
- 3.再度【左ボタン】を押すと記録を終了し、リアルモードに戻ります。また、記録開始から 3 分経過した場合もリアルモードに戻ります。

9.7.6. レックピークモード



記録を開始した時点からの最大値をレック中に表示するモードです。油圧、燃圧は最大値と最小値を切り替え表示します。差圧表示をしている場合でも、燃圧表示ゾーンには燃圧のピーク値が表示されます。レックピークモード中は、マルチ表示ゾーンに [●REC PEAK] を表示します。

CU 操作 (スライドスイッチ位置：【上段】)

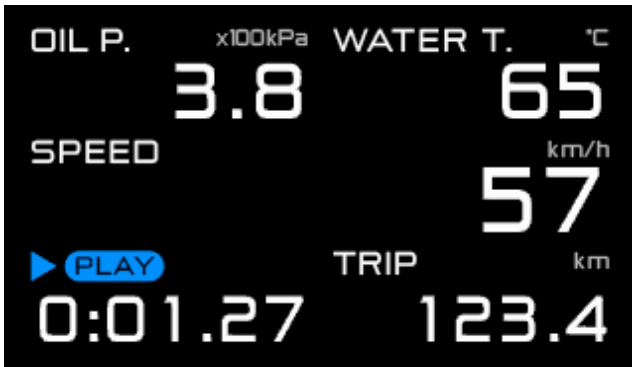
■ 油圧・燃圧センサーを接続していない場合

- 1.レックモード中に【中央ボタン】を押すとレックピークモードに移行します。
- 2.再度【中央ボタン】を押すとレックモードに戻ります。記録開始から 3 分経過した場合はリアルモードに戻ります。

■ 油圧・燃圧センサーを接続している場合

- 1.レックモード中に【中央ボタン】を押すとレックピークモード(ハイピーク)に移行し最大値が表示されます。
- 2.ハイピーク表示中に【中央ボタン】を押すとレックピークモード(ローピーク)に移行します。油圧及び燃圧は最小値、それ以外は最大値が表示されます。
- 3.再度【中央ボタン】を押すとレックモードに戻ります。【左ボタン】を押した場合、または記録開始から 3 分経過した場合はリアルモードに戻ります。

9.7.7. プレイモード



記録されているデータを再生するモードです。一時停止、コマ送り、早送り、巻き戻し等も可能です。プレイモード中は、マルチ表示ゾーンに [▶PLAY] と再生時間を表示します。

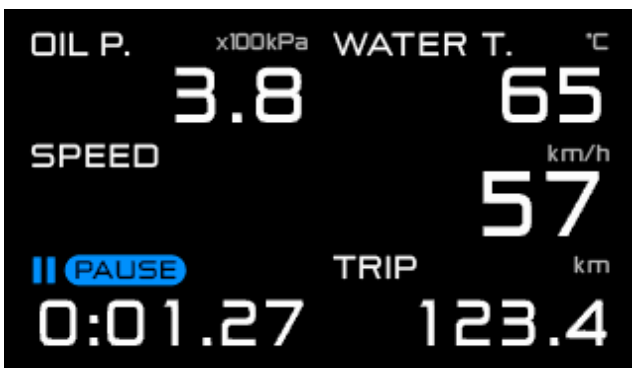
CU 操作 (スライドスイッチ位置：【中段】)

- 1.スライドスイッチを【中段】に合わせます。
- 2.【左ボタン】を押すとプレイモードに移行し、記録されているデータを再生します。
- 3.再生中に【左ボタン】を押すと再生を終了し、リアルモードに戻ります。または記録データの再生が終了するとリアルモードに戻ります。

9.7.7.1. プレイモード中の操作方法

■一時停止

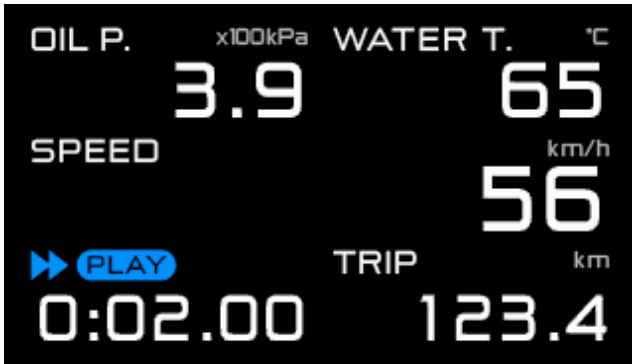
再生中に【中央ボタン】または【右ボタン】を押すと一時停止します。一時停止中に【左ボタン】を押すと再生に戻ります。一時停止中は、マルチ表示ゾーンに [||PAUSE] を表示します。



■コマ送り、早送り

一時停止中に【右ボタン】を押すとコマ送り、【右ボタン】を長押しすると早送りになります。

コマ送り中は、マルチ表示ゾーンに [||PAUSE] を表示し、早送り中は [▶▶PLAY] を表示します。



■コマ戻し、巻き戻し

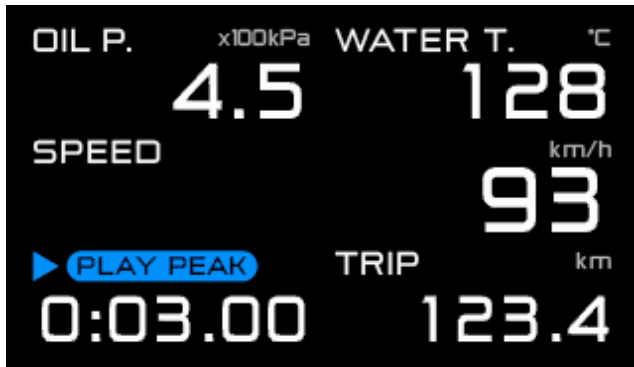
一時停止中に【中央ボタン】を押すとコマ戻し、【中央ボタン】を長押しすると巻き戻しになります。

コマ戻し中は、マルチ表示ゾーンに [||PAUSE] を表示し、巻き戻し中は [◀◀PLAY] を表示します。



※コマ送り、コマ戻しは、0.02 秒ごとです。

9.7.8. プレイピークモード



レック中に記録されたデータの中の最大値をプレイ中に表示するモードです。油圧、燃圧は最大値と最小値を切り替え表示します。プレイピークモード中は、マルチ表示ゾーンに [▶PLAY PEAK] を表示します。

プレイピークモード中もデータ再生は進んでいます。

CU 操作 (スライドスイッチ位置：【中段】→【上段】)

■ 油圧・燃圧センサーを接続していない場合

- 1.スライドスイッチを【中段】に合わせます。
- 2.【左ボタン】を押すとプレイモードに移行し、データを再生します。
- 3.再生中にスライドスイッチを【上段】に合わせます。(一時停止中でも可)
- 4.【中央ボタン】を押すと記録データ中のピーク値を表示します。(一時停止中でも可)
- 5.再度【中央ボタン】を押すとデータの再生に戻ります。またはスライドスイッチを【中央ボタン】に合わせ、【左ボタン】を長押しするとリアルモードに戻ります。

■ 油圧・燃圧センサーを接続している場合

- 1.スライドスイッチを【中段】に合わせます。
- 2.【左ボタン】を押すとプレイモードに移行し、データを再生します。
- 3.再生中にスライドスイッチを【上段】に合わせます。(一時停止中でも可)
- 4.【中央ボタン】を押すと記録データ中の最大値を表示します。(一時停止中でも可)
- 5.【中央ボタン】を押すと油圧及び燃圧は記録データ中の最小値、それ以外は最大値を表示します。(一時停止中でも可)
- 6.再度【中央ボタン】を押すとデータの再生に戻ります。またはスライドスイッチを【中段】に合わせ、ボタンを長押しするとリアルモードに戻ります。

	リアルピーク	レックピーク	プレイピーク
表示されるモード	リアルモード	レックモード	プレイモード
表示値	全モードのピーク値	レックモードで記録されたデータ中のピーク値	
ピーク値の更新	全モード中	レックモード中	
ピークリセット	リアルピークモード中に操作	レック開始時にオートリセットされる	

9.8. ワーニング設定モード



任意のワーニング値が設定できます。

車速、電圧にワーニング機能はありません。

⇒9.7.2.2 ワーニング表示

■ワーニング初期値一覧

メーター	ワーニング 初期値	単位	設定範囲		ワーニング 条件	ワーニング 出力
			最小値	最大値		
ターボ/インマニ	100	kPa	-100	300	設定値以上	ON
	14.5	PSI	-14.5	45		
タコメーター	7000	RPM	300	11000	設定値以上	ON
油圧	120	kPa	0	1000	設定値以下	ON
	17.5	PSI	0	145		
燃圧	150	kPa	0	600	設定値以下	ON
	21.8	PSI	0	87		
油温	125	°C	0	150	設定値以上	ON
	257	°F	32	302		
水温	105	°C	0	150	設定値以上	ON
	221	°F	32	302		
排気温度	850	°C	0	1100	設定値以上	ON
	1562	°F	32	2012		

すでにアドバンスコントロールユニットをご使用の場合は、設定済みのワーニング値に依存します。

⚠車の種類やコンディションによってはワーニング初期値以下(油圧・燃圧は 初期値以上)でも車両にダメージが加わる場合がありますので、取り付け時にお店に相談し、設定値を検討してください。

9.8.1. ワーニング値の設定変更

CU 操作 (スライドスイッチ位置 : 【下段】)

- 1.スライドスイッチを【下段】に合わせます。
- 2.【左ボタン】を押すとワーニング設定モードに移行します。
- 3.【左ボタン】を押して設定する項目を選択します。接続されていないセンサーは選択されません。

選択される順番は以下の通りです。

ターボ/インマニ → タコメーター → 油圧 → 燃圧 → 油温 →
→ 水温 → 排気温度 → ターボ/インマニ (→ 以下繰り返し)

△Φ80 タコメーターを接続している場合は、タコメーターのワーニングが 2 段階設定になります。

- 4.設定したい項目が選択された状態で、【中央ボタン】を押すと設定値が下がり、【右ボタン】を押すと設定値が上がります。それぞれのボタンを長押しすると設定値が早く変わります。
- 5.全ての設定終了後、スライドスイッチを【上段】または【中段】に戻してください。

9.8.2. ワーニング出力 ON/OFF の設定

FD に搭載されているマスターワーニングやアドバンスインジケーター(別売)を接続し、それぞれのワーニング出力を ON にすると、ON に設定した項目がワーニングになった時に、マスターワーニング、アドバンスインジケーターが点灯します。

ワーニング出力 ON/OFF に関わらず、ワーニングになった項目は赤背景で表示し、ブザー設定を ON にしている場合はブザーが鳴ります。

△回転数(デジタル)、回転数(バー)、ターボ/インマニ(バー)表示は赤背景にはなりません。

ワーニング出力の ON/OFF 設定は、マスターワーニング及びアドバンスインジケーター(別売)両方の動作と連動しているため、どちらかを ON、どちらかを OFF とすることはできません。

⇒9.7.2.2 ワーニング表示

CU 操作 (スライドスイッチ位置 : 【下段】)

- 1.スライドスイッチを【下段】に合わせます。
- 2.【左ボタン】を押すとワーニング設定モードに移行します。

3. 【左ボタン】を押してワーニング出力 ON/OFF を変更したい項目を選択します。

FD 操作

4. 【F2 ボタン】を押す度に [IND. OUT□] のチェック有り無しが切り替わります。チェックが入っている場合は、そのいずれかの項目がワーニングになった時にワーニング出力します。

CU 操作 (スライドスイッチ位置 : 【下段】)

5. 設定終了後、スライドスイッチを【上段】または【中段】に戻してください。

9.9.エラー表示

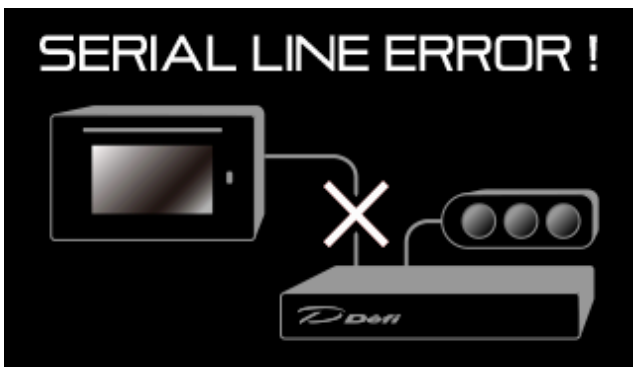


センサーがオープン、またはショートしている場合は、該当する表示項目が赤背景になり [OPEN] または [SHORT] を表示します。一度 [OPEN] または [SHORT] の表示が出るとイグニッションを OFF にするまで表示が続きます。油圧及び燃圧のショートメッセージはショートしている間だけ表示します。

センサーが接続してあり、かつ表示されていない項目のセンサーでオープン、またはショートした場合はマルチ表示ゾーンに [OPEN] または [SHORT] を表示します。表示されていない項目でオープン、またはショートが複数発生した場合は、マルチ表示ゾーンに [OPEN] または [SHORT] を 2 秒ずつ切り替え表示します。



FD とユニット間で通信ができなくなった場合は、[SERIAL LINE ERROR!] を表示します。



エラーが表示された場合は速やかにイグニッションを OFF にし、センサーや配線を確認してください。原因がわからない場合は、販売店または取り付けたお店に検査を依頼してください。

9.10. シーケンシャルインジケータ

エンジン回転数に応じて 8 個の赤 LED が点灯し、ワーニング設定値以上になると全 LED が点滅します。

[SINGLE] と [DUAL] の 2 通りの点灯方法が選択可能です。

表示パターン(シングル/デュアル)、点灯ステップ、点灯 ON/OFF はディスプレイセットアップモードで設定します。

⇒9.4.4 シーケンシャルインジケータ表示パターン設定 [SEQ. IND. PATTERN]

⇒9.4.5 シーケンシャルインジケータ点灯ステップ設定 [SEQ. IND. STEP]

⇒9.4.6 シーケンシャルインジケータ表示 ON/OFF 設定 [SEQ.IND.]

ディマー設定が [AUTO] の場合は周囲の明るさに応じて、[MANUAL] の場合は車両のイルミに連動して一段減光します。

⇒9.3.5 ディマー設定 [DIMMER]

■ LED 点灯開始回転数

[SINGLE] = (エンジン回転数のワーニング設定値) - (点灯ステップ) × 8

[DUAL] = (エンジン回転数のワーニング設定値) - (点灯ステップ) × 4

■ 全 LED 点灯回転数

[SINGLE] = [DUAL] = (エンジン回転数のワーニング設定値) - (点灯ステップ)

■ 全 LED 点滅回転数

エンジン回転数のワーニング設定値以上

■ 動作例

ワーニング設定値 : 8000RPM 点灯ステップ : 100RPM

[SINGLE]

LED (左から)	1	2	3	4	5	6	7	8	点滅
点灯回転数 (RPM)	7200	7300	7400	7500	7600	7700	7800	7900	8000

[DUAL]

LED (左から)	1	2	3	4	5	6	7	8	点滅
点灯回転数 (RPM)	7600	7700	7800	7900	7900	7800	7700	7600	8000

※ アドバンスΦ80 タコメーターを接続している場合は、2 段階のワーニング設定のうち、高い設定値が点灯・点滅の基準となります。

10. トラブルシューティング(お客様・取り付け業者様へ)

⚠警告

❗ 異常を感じたら、必ず点検をしてください。さもないと、重大な事故が発生する恐れがあります。

❗ 使用中、または設定・操作の段階でトラブルが発生した場合、下表を参考に確認してください。あてはまる項目がない場合、または対処をしても改善されない場合は、取り付けたお店・販売店にご相談ください。

症 状	考えられる原因	対処方法
<ul style="list-style-type: none"> ○動作しない。 ○電源が入らない。 ○アドバンスコントロールユニットの電源確認マークが点灯しない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○電源ハーネスの配線が間違っている。 ○車速・エンジン回転数信号ハーネス、メーターハーネス、スイッチハーネスのコネクターが間違った位置に差し込まれている。 ○電源ハーネスのヒューズが切れている。 ○エレクトロタップのロックが閉まっている、または接触不良を起こしている。 ○配線のどこかにショートやオープンなどの問題がある。またはメーターに異常がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○取付方法に基づいて、+B、IGN、GNDの配線を確認してください。 ○それぞれのコネクターが正しい位置に差し込まれているか確認してください。 ○配線を確認後、ヒューズを交換してください。 ○エレクトロタップの配線部分を確認してください。 ○取付方法に基づいて、配線とメーターを確認してください。原因がわからない場合は販売店または取り付けたお店に検査を依頼してください。
<ul style="list-style-type: none"> ○エンディングモードを行わない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○+Bの配線が間違っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○取付方法に基づいて、+Bの配線を確認してください。 ○エレクトロタップの+Bの配線部分を確認してください。 ○電源の配線を確認のうえ、販売店または弊社お客様相談室にご相談ください。
<ul style="list-style-type: none"> ○イルミをONしても表示が減光しない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ILMの配線が間違っている。 ○エレクトロタップのロックが閉まっている、または接触不良を起こしている。 ○調光がMANUAL LEVEL:MAXに設定してある。 ○調光設定がAUTOで周囲が明るい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○取付方法に基づいて、ILMの配線を確認してください。 ○エレクトロタップの配線部分を確認してください。 ○使用方法に基づいて、調光設定を変更してください。
<ul style="list-style-type: none"> ○センサーオープンまたはショート表示が出る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○センサーやセンサーハーネスにオープンやショートなどの問題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○取付方法に基づいて、センサー、センサーハーネスを確認してください。原因がわからない場合は販売店または取り付けたお店に検査を依頼してください。

症 状	考えられる原因	対処方法
○シリアルエラー表示が出る。	○FDとアドバンスコントロールユニット間で通信ができない。	○配線方法に基づいて、メーターハーネスを確認してください。原因がわからない場合は販売店または取り付けたお店に検査を依頼してください。
○エンジン回転数が正常に表示されない。	○エンジン回転数信号の配線が間違っている。 ○気筒数設定が間違っている。	○Webサイトの適用車種検索に基づいて、配線を確認してください。 ○本取扱説明書の車速・エンジン回転数信号ハーネスの配線方法に従って配線確認をしてください。 ○ご使用方法をご覧になり、気筒数設定を確認してください。
○純正メーターよりエンジン回転数表示が少し低い。	○純正のタコメーターは実際のエンジン回転数より最大で10%程度高い場合がある。	○純正のタコメーターとの差が最大で10%程度か確認してください。本製品は精度を最重視しているため、実際の値に対しほとんど誤差はありません。10%程度であれば正常です。大きく異なる場合は気筒設定を確認してください。
○車速表示が純正メーターと合わない。	○スピードパルスの取り出し位置が誤っている。 ○スピードパルス設定が間違っている。	○スピードパルス取り出し位置を確認ください。 ○スピードパルス設定をやり直してください。
○システムセットアップできない。	○複数のFDでディスプレイNo.が同じになっている。	○本取扱説明書に基づいてディスプレイNo.が同じにならないように設定変更してください。
○システムセットアップメニューが表示されない。	○アクティブディスプレイが設定されていない。	○本取扱説明書に基づいてアクティブディスプレイを設定してください。
○スイッチを押しても反応しない。	○スイッチハーネスがメーターハーネス用コネクタ(白)に接続されている。	○スイッチハーネス用コネクタ(黒)に接続しなおしてください。

11. 保守・点検・保証・アフターサービス(お客様・取り付け業者様へ)

■ 保証書・保証規程について

本製品には保証書が入っております。また、保証書の裏面に保証規程を記載しております。本製品は保証規程の内容に従って保証されています。よくお読みになり、記入事項をご確認の上、大切に保管してください。保証書の提示がない場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

■ 保証期間

保証期間はご購入から **1 年**です。購入時、ご購入いただいた販売店が保証書に記載されていることをご確認ください。詳細は保証規程をご覧ください。

△本製品を使用されて発生した違反、事故等に関するもの、誤配線等、本製品の製造不良以外による車両トラブルについては一切責任を負いかねます。

⊙危険ですのでご自身では修理しないでください。保証の対象外となるだけでなく、故障・事故の原因となります。

■ 補修用性能部品の最低保有期間

当社は本製品の補修用性能部品を製造打ち切り後 3 年間保有しております。

(性能部品とはその製品の機能を保持するために必要な部品です)

■ 検査依頼について

取り付けした製品の調子がおかしい、または動作がおかしくなったと感じた場合は、お買い上げいただいた販売店に検査をご依頼ください。Defi 製品は車両への取り付け・配線作業が発生するため、お客様からの直接の検査ご依頼は受け付けておりません。検査・修理は Defi 製品の販売店にご依頼くださいますようお願いいたします。

引っ越しや販売店の閉店等の理由により、お買い上げいただいた販売店に行くことができない場合はお近くの Defi 製品取扱店にご依頼いただくか、Defi お客様相談室までお問い合わせください。

🔍 検査を依頼される際には、製品の他に保証書とお客様情報を必ずご提示ください。

中古製品を購入しご使用される場合や、中古車を購入し取り付けられていた製品をご使用いただく場合は、必ず Defi で点検(有償)してからご使用ください。また、5 年以上ご使用になった場合も Defi で点検(有償)してください。

取り付け後も製品本体、ハーネス、センサー部などを定期的に点検し、異常がないことをご確認の上、十分注意してご使用ください。

お客様情報

検査を依頼する際には、お店の担当者に以下のことをおことづけください。

1 お客様のご連絡先		
郵便番号・住所		
氏名		
電話番号		
メールアドレス		
2 購入店と取り付け作業先（連絡先）		
3 取り付けている車両の情報		
車種		
年式		
型式		
エンジン型式		
排気量		
ギアミッション（MT/AT）		
リミッターカット	有	無
純正タコメーター	有	無
エンジン載せ換え	有	無
社外点火システムへの変更	有	無
ECU 変更	有	無
センサー取付方法		
その他の仕様		
4 お使いの Defi 製品 (検査依頼する製品以外にも取り付けている場合はその製品も)		
5 動作の状況 (いつ？何をしたら？どの製品が？何がどうなったのか？その後の状況は？)		

■ ラベルについて

製品に貼ってあるラベルは製品情報を特定するためのものです。絶対に剥がさないでください。

■ 廃棄方法について

製品を廃棄する際は、廃棄物処理法及びお住まいの自治体のルールに従って処理してください。パッケージについてはリサイクルが可能です。(パッケージに記載されているリサイクルマークをご覧ください。)

デフィリンクメーターアドバンスエフディー取扱説明書

■発行 第2版 2022年12月

■製造元 日本精機株式会社

■連絡先 日本精機株式会社 Defi お客様相談室

【住所】〒940-8580 新潟県長岡市東蔵王2丁目2-34 日本精機株式会社 Defi

【電話番号】(0258)24-5221 (Japanese only)

【受付時間】10:00~12:00, 13:00~17:00 (土・日曜、祝日、当社休日を除く平日)

【Webサイト】 <https://www.nippon-seiki.co.jp/defi/>

【YouTubeチャンネル】 <https://www.youtube.com/user/NSDefi>

【Facebookページ】 <https://www.facebook.com/Defi.Gauges/>

【Instagramアカウント】 https://www.instagram.com/defi_ns_official/



Web サイト



YouTube



Facebook



Instagram

特許出願中

 **NIPPON SEIKI CO.,LTD.**

FD:22.12-2